

広島県病院経営外部評価委員会

会議次第

日時：平成22年7月5日(月)19:15～

場所：県立広島病院 講堂

1 開会

2 あいさつ

3 委員長選任等

4 議題

- (1)外部評価委員会の進め方について
- (2)経営計画の評価方法について
- (3)病院運営や経営計画の取組状況に関する意見・提言について

5 その他

<配布資料>

- 会議次第
- 広島県病院経営外部評価委員会資料

目次

・設置要綱, 委員名簿	(P2～3)
・外部評価委員会の進め方	(P4)
・広島県の医療概況	(P5～8)
・病院事業概要	(P9～12)
・平成21年度決算見込み状況	(P13～17)
・経営状況	(P18～27)
・他病院との比較	(P28～32)
・一般会計繰入金	(P33～35)
・広島県病院事業経営計画の評価方法	(P36～38)
・経営計画の取組状況(広島病院)	(P39～52)
・経営計画の取組状況(安芸津病院)	(P53～61)

- <参考資料>外部評価委員会 全体の流れ

広島県病院経営外部評価委員会

【第1回】

平成22年7月5日(月)

広島県病院経営外部評価委員会設置要綱

(設置目的)

第1条 県立病院の経営に関し、外部有識者の専門的な視点による病院経営の実践的取組に関する提言を得て、県立病院運営の充実を図るため、「広島県病院経営外部評価委員会(以下「委員会」という。)」を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、前条の目的を達成するため、病院事業の次に掲げる事項について検討し、必要な助言・提言を行う。

- (1) 広島県病院事業経営計画の点検・評価・見直しに関すること
- (2) 県立病院の実践的な経営改善、医療サービスの向上に関すること
- (3) その他病院事業管理者が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、病院事業管理者が委嘱した10人以内の委員によって構成する。

- 2 委員の任期は、原則として2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 3 委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員会は、必要に応じて専門部会を設けることができる。

(委員長及び副委員長)

- 第4条 委員会に、委員長及び副委員長を置く。
- 2 委員長は委員の互選とし、副委員長は委員のうちから委員長が指名する。
 - 3 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
 - 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(オブザーバー)

- 第5条 委員会に、オブザーバーを置く。
- 2 病院事業管理者は、オブザーバーとして委員会に出席する。
 - 3 オブザーバーは、委員会において意見を述べるることができる。

(委員会の会議)

第6条 委員会の会議(以下「会議」という。)は、委員長が必要に応じて招集する。

- 2 委員会は、必要に応じて委員以外の者に会議への出席を求め、又は他の方法により意見を聴取することができる。
- 3 会議は、原則として公開とし、審議の概要は、公表するものとする。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合であって、委員会が会議の一部又は全部を公開しない旨を出席委員の過半数により決定したときは、この限りではない。
 - (1) 広島県情報公開条例(平成13年3月26日 条例第5号)第10条に規定する不開示情報が含まれる事項について審議を行う場合
 - (2) 公開することにより、会議の公正又は円滑な運営に著しい支障が生ずると認められる場合

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、病院事業局県立病院課において処理する。

(雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成22年5月18日から施行する。
- 2 この要綱は、広島県病院事業経営計画(平成21年度～平成25年度)の対象期間の審議満了(平成26年度)をもって、その効力を失う。

○委員

職名	氏名 (50音順)	備考
広島大学教授	河野 修興 (※)	大学
徳島県病院事業管理者	塩谷 泰一	自治体病院経営
(株) ホスピタルマネジメント研究所 代表取締役	谷田 一久 (※)	学識経験者 経営コンサルティング
(社) 広島県医師会副会長	檜谷 義美	医師会
(財) 広島県女性会議理事	平谷 優子	弁護士
有限責任監査法人トーマツ パートナー	和田 頼知	公認会計士 経営コンサルティング

○オブザーバー

(敬称略)

職名	氏名	備考
広島県病院事業管理者	大濱 紘三 (※)	

※経営計画策定時の委員

1 目的と検討事項

目的 ～ 外部有識者の専門的な視点による病院経営の実践的取組に関する提言を得て、県立病院運営の充実を図ること。

検討事項 ～ ①医療サービスの向上や経営改善手法などの病院運営に関する意見・提言
②公立病院改革ガイドラインに基づく、経営計画の進捗状況や取組の成果等などに対する点検・評価
③経営計画の見直しに係る意見・提言

2 スケジュール（案）

第1回（平成22年7月5日）

内容 ～ ①病院事業概要
②平成21年度の決算状況
③経営計画の取組状況



第2回（平成22年9月頃）

内容 ～ ①前回の主な意見、提言
②追加分析、新たな課題への対応
③経営計画の取組に係る自己評価素案
④県立病院の役割や方向性など



第3回（平成23年2月～3月頃）

内容 ～ ①前回までの主な意見、提言
②提案等を踏まえた平成22年度の取組状況
③経営計画の取組評価の取りまとめ など



3 主な論点

- ・病院運営や経営計画の取組状況に関する意見
- ・課題の抽出、分析手法、改善方策の提案
- ・その他必要な取組の提言

- ・病院運営や経営計画の取組状況に関する意見
- ・課題の抽出、分析手法、改善方策の提案
- ・経営計画の取組に対する中間評価
- ・県立病院の方向性
- ・その他必要な取組の提言

- ・病院運営や経営計画の取組状況に関する意見
- ・課題の抽出、分析手法、改善方策の提案
- ・経営計画の取組に対する評価の取りまとめ
- ・計画見直しに係る意見
- ・その他必要な取組の提言

※日程の変更、議論の進行によって臨時開催する場合がある。

広島県の医療概況

1 県立病院配置状況

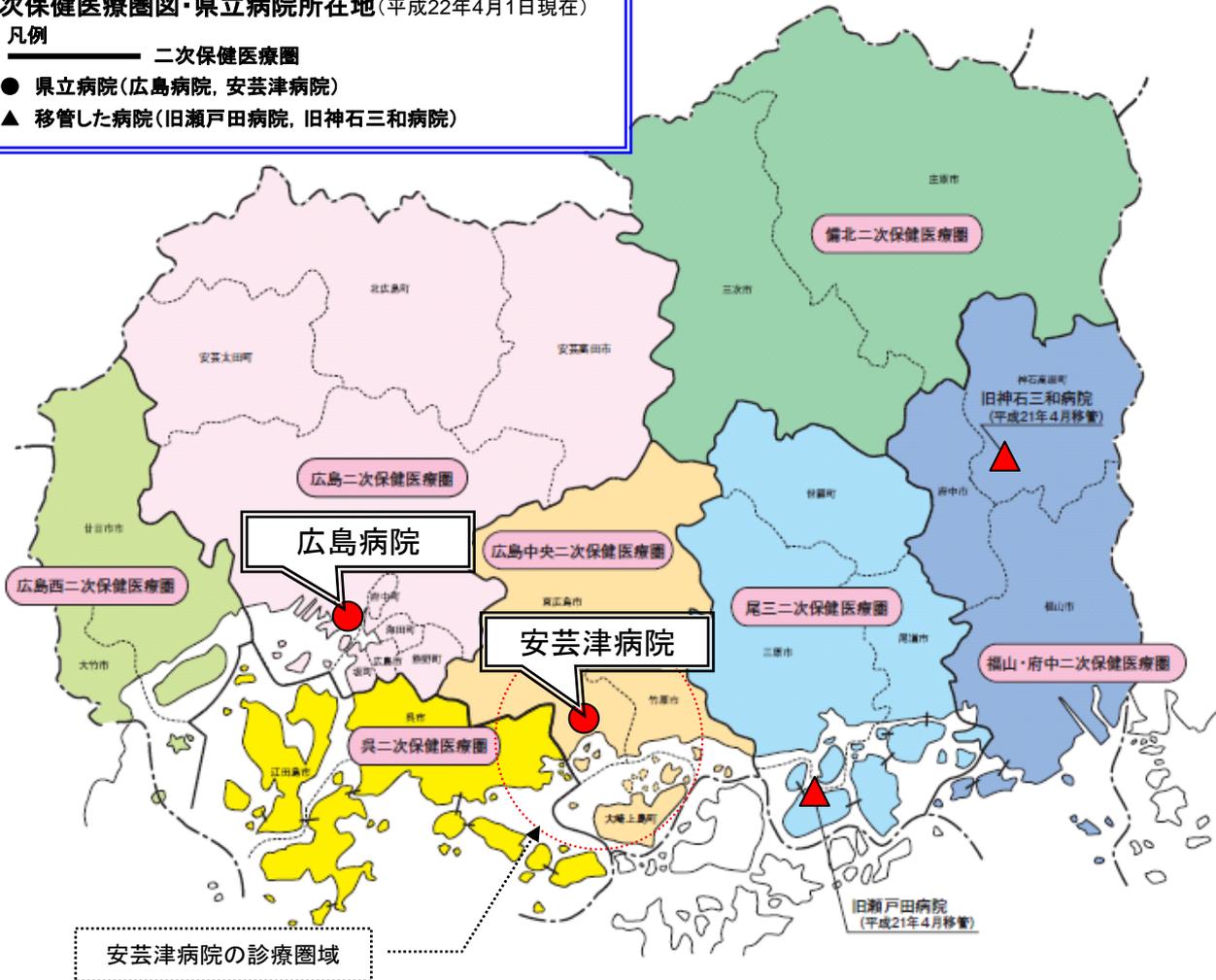
二次保健医療圏図・県立病院所在地(平成22年4月1日現在)

凡例

—— 二次保健医療圏

● 県立病院(広島病院, 安芸津病院)

▲ 移管した病院(旧瀬戸田病院, 旧神石三和病院)



広島県の人口(H22.4.1現在推計)

(単位:人)

広島県	2,858,002
-----	-----------

二次保健医療圏	市町名	人口
広島(1,345,027)	広島市	1,169,224
	府中町	51,057
	海田町	28,460
	熊野町	24,538
	坂町	13,195
	安芸大田町	7,334
	北広島町	19,821
広島中央(224,954)	東広島市	187,764
	竹原市	28,799
	大崎上島町	8,391
呉(268,140)	呉市	241,348
	江田島市	26,792
広島西(143,974)	廿日市市	114,957
	大竹市	29,017
尾三(264,259)	三原市	101,152
	尾道市	145,518
	世羅町	17,589
福山・府中(515,144)	福山市	461,893
	府中市	42,829
	神石高原町	10,422
備北(96,504)	三次市	56,397
	庄原市	40,107

広島県は…

- 広島県人口は約286万人（平成22年4月推計），平成10年の288.4万人をピークに，人口は毎年微減。
- 中山間地域を多く抱え，無医地区が多い。（56地区，全国2位：平成16年厚生労働省調査）
- 医師数は，対10万人当たり227.4人で全国19位で平均（212.9人）より多い。（厚生労働省2008年調査）

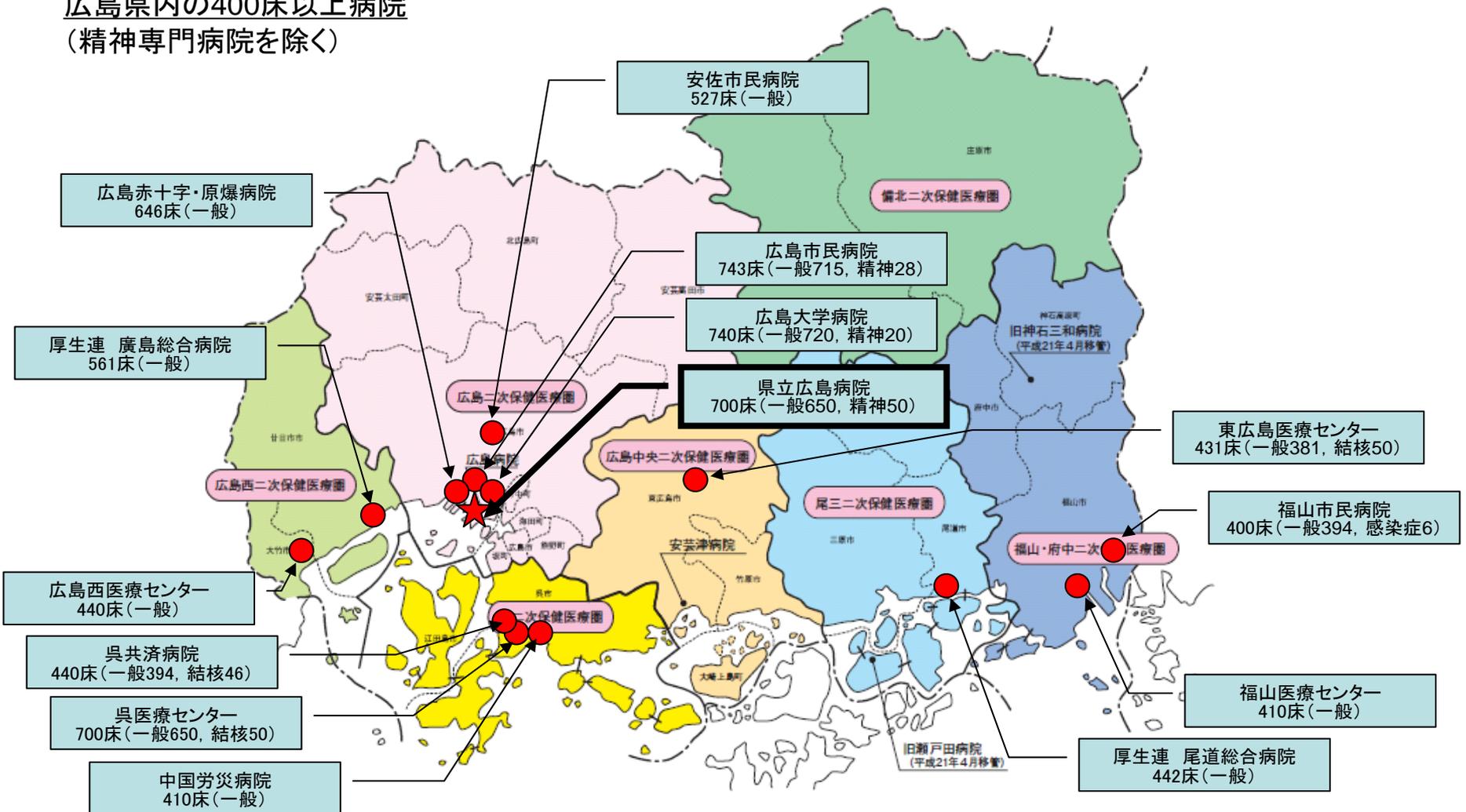
広島病院は…

- 広島県の基幹病院として，県内全域を視野に入れた医療提供をしている。
 - ・救命救急センター（県内5つの救命救急センター（高度含む）の1つとして，3次救急医療を担う。）
 - ・総合周産期母子医療センター（周産期医療システムの中核的な役割を担い，7つの地域周産期母子医療センターと連携）
 - ・地域がん診療連携拠点病院（広島大学病院（県がん拠点）を含む広島二次医療圏内の5つの拠点病院が，県の中核拠点病院群として県内全体の医療機関を支援する役割を担う。）
 - ・基幹災害医療センター（県内唯一であり，他の地域災害医療センター等と連携した災害訓練や情報共有。）
- 所在する広島市は，二次医療圏の中心地で，医療圏人口の87%を占める約117万人。半径2km内に複数の500床以上の病院があり，激戦区。《県立広島病院(700床)，広島大学病院(740床)，広島市民病院(743床)，広島日赤病院(646床)》

安芸津病院は…

- 大学進出や企業誘致などにより人口増加傾向の東広島市のある広島中央二次医療圏（約22万人）に属すが，医療圏の沿岸部を主な診療圏とする，地域の中核病院。
- 主な診療圏は，旧安芸津町，竹原市，呉市安浦町，大崎上島町で，東広島市中心地から15km以上離れており，少子・高齢化が進んでいる地域。
- 安芸津病院と，竹原市の2病院で病院群輪番制を維持しているが，小児医療については，近隣に小児科が無く，安芸津病院の負担が大きい。

広島県内の400床以上病院 (精神専門病院を除く)



●広島県内の指定状況

区分	広島県	地方公共団体	国	日赤等 公的医療機関	社会保険関係	その他 (公益法人等)	医療法人・個人	
救命救急センター(全国212)	(5)	県立広島病院	広島大学病院					
		広島市立広島市民病院	呉医療センター					
		福山市民病院						
総合周産期母子医療センター(全国75)	(2)	県立広島病院						
地域周産期母子医療センター (全国236(うち休止中6))	(7)	広島市立広島市民病院						
		市立三次中央病院	広島大学病院	尾道総合病院		土谷総合病院		
			呉医療センター					
			中国労災病院					
がん診療連携拠点病院(全国351)	(11)	県立広島病院	広島大学病院	広島赤十字・原爆病院				
		広島市立広島市民病院	呉医療センター	広島総合病院				
		広島市立安佐市民病院	東広島医療センター	尾道総合病院				
		福山市民病院						
		市立三次中央病院						
地域医療支援病院(全国220)	(12)	県立広島病院	福山医療センター	広島総合病院		呉市医師会病院		
		尾道市立市民病院	呉医療センター	広島赤十字・原爆病院		三原市医師会病院		
		広島市立広島市民病院	中国労災病院	尾道総合病院				
		広島市立安佐市民病院						
基幹災害医療センター(全国56)	(1)	県立広島病院						
地域災害医療センター(全国530)	(13)	広島市立広島市民病院	呉医療センター	広島赤十字・原爆病院			興生総合病院	
		広島市立安佐市民病院	中国労災病院	広島総合病院		日本鋼管福山病院		
		福山市民病院		三原赤十字病院				
		市立三次中央病院		尾道総合病院				
				庄原赤十字病院				
へき地医療拠点病院(全国257)	(7)	県立広島病院	広島西医療センター	庄原赤十字病院				
		市立三次中央病院		吉田総合病院				
		神石高原町立病院						
		安芸太田病院						
エイズ治療拠点病院 (○)中国・四国ブロック拠点病院 (■)エイズ治療中核拠点病院	(5)	県立広島病院(○)(■)	広島大学病院(○)					
		広島市立広島市民病院(○)(■)	呉医療センター					
			福山医療センター					
臨床研修病院(全国2,526)	(28)	(協力型のみは除く)	7	6	4	3	2	6
小児救急医療拠点病院	(3)	広島市立舟入病院		尾道総合病院				
		市立三次中央病院						
第1種感染症指定医療機関(全国30)	(1)		広島大学病院					

県立広島病院

■施設概要

○所在地 広島市南区宇品神田一丁目5-54

○開設年月日 昭和23年4月1日

○施設面積 敷地面積 25,325.30㎡
建物延面積 65,473.51㎡

○病床数 700床(一般650床, 精神50床)

○診療科 (平成22年4月1日現在)

総合診療科, 循環器内科, 消化器内科, 内視鏡内科,
呼吸器内科, 内分泌内科, 神経内科, 臨床腫瘍科, 精神神経科,
第一一般外科, 第二一般外科, 心臓血管・呼吸器外科,
整形外科, 脳神経外科, 腎臓内科, 透析・移植外科, 皮膚科,
泌尿器科, 眼科, 耳鼻咽喉科・頭頸部外科, リハビリテーション科,
放射線診断科, 放射線治療科, 歯科・口腔外科, 麻酔科, 救急科,
小児科, 小児腎臓科, 新生児科, 小児外科, 小児感覚器科,
産科, 婦人科, 生殖医療科, 緩和ケア科

○認定施設等

- ・救命救急センター
- ・基幹災害医療センター
- ・エイズ拠点病院
- ・総合周産期母子医療センター
- ・臓器提供施設
- ・地域がん診療連携拠点病院
- ・地域医療支援病院
- ・臨床研修指定病院
- ・日本病院機能評価(Ver.5.0)認定施設

■救急医療体制

3次救急 (救命救急センター) H8.11～

県立安芸津病院

■施設概要

○所在地 東広島市安芸津町三津4388

○開設年月日 昭和23年4月1日

○施設面積 敷地面積 4,833.27㎡
建物延面積 11,599.45㎡

○病床数 150床(一般)《うち50床休床》

○診療科 (平成22年4月1日現在)

循環器内科, 消化器内科, 一般内科, 小児科, 外科,
整形外科, 婦人科, 眼科, 耳鼻いんこう科, 放射線科,
リハビリテーション科

○認定施設等

- ・救急告示病院
 - ・病院群輪番制病院
- 輪番制参加病院は、竹原地区で3病院
輪番制当番日は毎週月・木曜日(日・祝は3病院で交互に担当)
当番日 ~内科・外科系・小児科各1名。
その他の日~内科又は外科系のいずれか1名。
小児科は午後8時まで待機(土日除く)。

■救急医療体制

2次救急(病院群輪番制) S55.4～

県立広島病院

■主な沿革

- 平成3～8年 中央棟整備(755床)【総事業費約250億円】
- 16年4月 病院機能評価認定(Ver.4.0)
- 9月 緩和ケア支援センター開所(765床)
- 18年4月 DPC導入
- 8月 地域がん診療連携拠点病院指定
- 19年5月 7対1看護開始
- 8月 地域医療支援病院の名称使用承認
- 21年1月 電子カルテ稼動
- 3月 成育医療センター開設
- 21年4月 全部適用 , 700床

■21年度実績

- ・1日平均入院患者数 586人(病床利用率 83.7%)
- ・1日平均外来患者数 1,321人
- ・新規入院患者数 12,745人
- ・平均在院日数 14.4日(H22.3)
- ・紹介率 67.5%
(紹介患者数 11,327人, 緊急入院初診 2,455人,
初診患者数 21,864人, 時間外初診 1,459人)
- ・逆紹介率 70.7%
(逆紹介患者数 14,427人, 初診患者数 21,864人,
時間外初診 1,459人)

県立安芸津病院

■主な沿革

- 平成元～3年 病院増改築(150床)【総事業費29億円】
- 13年11月 産科を休止
- 20年10月 県立安芸津病院の充実を求める要望書
(33,894人署名)受領
- 21年 1月 10対1看護開始
- 4月 全部適用 , 100床(50床休床)
- 22年 2月 10床を亜急性期病床に転換
- 3月 安芸津病院を支援する会発足
- 4月 訪問看護開始

■21年度実績

- ・1日入院患者数 78.6人(病床利用率 78.6%)
- ・1日外来患者数 392人
- ・新規入院患者数 1,365人
- ・平均在院日数 19.3日(H22.3)
- ・紹介率 6.9%(H21.9～22.3)
(紹介患者数 263人, 救急車搬入患者数 217人,
初診患者数6,948人)
- ・逆紹介率 4.5%(H21.9～22.3)
(逆紹介患者数 310人, 初診患者数6,948人)

■経営目標

- 県立病院として期待されている政策医療機能を担っていくため、医療提供体制の強化を図ります。
- 広域的な観点から安定的な医療提供体制の構築を図るため、広島県の医療を担う人材の育成と派遣機能を強化します。
- 良質な医療を継続的に提供していくため、患者サービスの向上と経営の効率化に取り組めます。

県立広島病院

県立安芸津病院

■理念

県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします。

■基本方針

1. 患者様の権利を尊重し、真心のこもった医療を実践します。
2. 医療事故ゼロを目標として、患者様の安全対策に努めます。
3. 県の基幹病院として、21世紀の高度・先進医療を推進します。
4. 各医療機関と連携を強め、地域医療の充実向上に貢献します。
5. 健全な病院運営に努め、良質な医療サービスを提供します。

■理念

地域の皆様に愛され信頼される中核病院をめざします。

■基本方針

- 私たちは
1. 患者さまのための真心の医療サービスを行います。
 2. 地域の皆さまから信頼される病院づくりに努めます。
 3. 常に質の高い医療の提供ができるよう心がけます。

(平成22年4月1日現在)

区 分	総 数		広島病院		安芸津病院		本 庁	
	正 規	非 常 勤	正 規	非 常 勤	正 規	非 常 勤	正 規	非 常 勤
事 務 職 員	60	26	38	22	9	4	13	
事 務 そ の 他 (相 談 業 務 等)	1	9	1	9				
小 計	61	35	39	31	9	4	13	
医 師	163		151		12			
(うち 医 員)	(34)		(34)					
臨 床 研 修 医		20		20				
歯 科 医 師	3		3					
(うち 医 員)	(1)		(1)					
臨 床 研 修 歯 科 医		1		1				
小 計	166	21	154	21	12			
(うち医員)	(35)		(35)					
薬 剤 師	25	7	22	7	3			
放 射 線 技 師	24	1	20	1	4			
コ 検 査 技 師	42	2	35	2	7			
メ 歯 科 衛 生 士	2	1	2	1				
デ 歯 科 技 工 士	1		1					
イ 理 学 療 法 士	9		7		2			
カ 作 業 療 法 士	3		3					
ル 心 理 療 法 士	1		1					
言 語 聴 覚 士	5		5					
臨 床 工 学 技 士	10		10					
栄 養 士	5	3	4	2	1	1		
胚 培 養 士	2	1	2	1				
視 能 訓 練 士	2	2	2	2				
チャイルド・ライフ・ スペシャリスト		1		1				
小 計	131	18	114	17	17	1		
看 護 師	700	43	633	33	67	10		
准 看 護 師	1	3			1	3		
保 健 師	2		2					
病 棟 業 務 嘱 託 員		31		30		1		
小 計	703	77	635	63	68	14		
一 般 職 計	1,061	151	942	132	106	19	13	
★条例定数1,070								

後期臨床研修(歯科)医の処遇を改善し、任期付常勤職員としています。(H21.4～)

平成21年度決算見込

1 収支計画の達成状況【損益】 (1)

I 病院事業全体

1 全体の決算見込

(1) 収益的収支(損益収支)

(単位:千円, 税込み)

区 分		H20決算 (A)	H21当初 (=経営計画)(B)	H21決算見込 (C)	計画比較 (C)-(B)	決算比較 (C)-(A)
病院事業 収益	入院収益	11,118,324	11,886,972	11,828,160	△ 58,812	709,836
	外来収益	4,561,580	4,690,102	4,724,744	34,642	163,164
	その他医業収益	910,454	927,006	947,678	20,672	37,224
	計	16,590,358	17,504,080	17,500,582	△ 3,498	910,224
	受取利息等	681	2,000	1,051	△ 949	370
	他会計補助金	550,271	944,218	858,432	△ 85,786	308,161
	補助金	40,613	38,585	40,232	1,647	△ 381
	負担金交付金	1,415,084	1,624,972	1,539,108	△ 85,864	124,024
	その他医業外収益	121,130	123,797	123,416	△ 381	2,286
	計	2,127,779	2,733,572	2,562,239	△ 171,333	434,460
特別利益	50,529	30,000	111,312	81,312	60,783	
合計	18,768,666	20,267,652	20,174,133	△ 93,519	1,405,467	
病院事業 費用	給与費	9,303,517	9,964,665	9,578,467	△ 386,198	274,950
	材料費	4,657,843	4,830,454	4,741,902	△ 88,552	84,059
	経費	2,567,782	2,776,041	2,662,196	△ 113,845	94,414
	減価償却費	1,750,649	1,695,349	1,632,362	△ 62,987	△ 118,287
	資産減耗費	24,548	18,673	24,459	5,786	△ 89
	研究研修費	94,868	148,119	102,632	△ 45,487	7,764
	計	18,399,207	19,433,301	18,742,018	△ 691,283	342,811
	支払利息等	914,436	873,120	821,053	△ 52,067	△ 93,383
	繰延勘定償却	157,181	429,213	426,079	△ 3,134	268,898
	負担金	59,442	33,877	65,776	31,899	6,334
消費税	15,682	17,838	19,076	1,238	3,394	
雑損失	33	500	3,398	2,898	3,365	
計	1,146,774	1,354,548	1,335,382	△ 19,166	188,608	
特別損失	192,085	61,303	490,919	429,616	298,834	
合計	19,738,066	20,849,152	20,568,319	△ 280,833	830,253	
經常損益	△ 827,844	△ 550,197	△ 14,579	535,618	813,265	
特別損益	△ 141,556	△ 31,303	△ 379,607	△ 348,304	△ 238,051	
収益的収支差引	△ 969,400	△ 581,500	△ 394,186	187,314	575,214	

(2) 資本的収支

(単位:千円, 税込み)

区 分		H20決算 (A)	H21当初 (=経営計画)(B)	H21決算見込 (C)	計画比較 (C)-(B)	決算比較 (C)-(A)	
資本的 収入	企業債	2,130,600	1,439,000	1,048,000	△ 391,000	△ 1,082,600	
	出資金	1,140,753	1,341,401	1,340,731	△ 670	199,978	
	他会計長期借入金	1,524,223	848,872	848,872	0	△ 675,351	
	固定資産売却代金	420	0	0	0	△ 420	
	補助金	0	0	15,000	15,000	15,000	
	その他雑収益等	12,879	18,128	16,276	△ 1,852	3,397	
	合計	4,808,875	3,647,401	3,268,879	△ 378,522	△ 1,539,996	
	資本的 支出	建設改良費	1,456,558	1,295,009	1,000,725	△ 294,284	△ 455,833
		内 資産購入費	764,110	769,366	576,484	△ 192,882	△ 187,626
		建設工事費	692,448	525,643	424,241	△ 101,402	△ 268,207
企業債償還金		3,373,524	2,882,057	2,879,656	△ 2,401	△ 493,868	
長期借入金償還金		38,526	283,695	283,695	0	245,169	
繰延勘定等		743,525	192,900	106,147	△ 86,753	△ 637,378	
合計		5,612,133	4,653,661	4,270,223	△ 383,438	△ 1,341,910	
資本的収支差引		△ 803,258	△ 1,006,260	△ 1,001,344	4,916	△ 198,086	

(3) 資金収支

単年度資金収支	248,183	573,135	1,080,139	507,004	831,956
年度末内部留保資金	1,115,647	1,688,782	2,195,786	507,004	1,080,139

(4) 患者数等の推移

入院延患者数(人)	243,954	249,725	242,457	△ 7,268	△ 1,497
病床利用率(%)	78.6	85.5	83.0	△ 2.5	4.4
外来延患者数(人)	404,955	416,876	414,347	△ 2,529	9,392

(注) 資金収支を除き, 平成20年度決算は, 移管した2病院を除く合計値。

平成21年度決算見込

1 収支計画の達成状況【損益】 (2)

II 広島病院

2 県立広島病院(平成21年度決算見込)

(1) 収益の収支(損益収支)

(単位:千円, 税込み)

区分	H20決算 (A)	H21当初 (=経営計画) (B)	H21決算見込 (C)	計画比較 (C)-(B)	決算比較 (C)-(A)	
病院事業収益	入院収益	10,121,039	10,898,297	10,997,176	98,879	876,137
	外来収益	3,979,236	4,020,400	4,126,386	105,986	147,150
	その他医業収益	813,990	828,322	853,166	24,844	39,176
	計	14,914,265	15,747,019	15,976,728	229,709	1,062,463
	受取利息等	681	2,000	960	△ 1,040	279
	他会計補助金	485,623	858,556	777,886	△ 80,670	292,263
	補助金	40,613	38,585	40,232	1,647	△ 381
	負担金交付金	1,311,773	1,465,835	1,398,261	△ 67,574	86,488
	その他医業外収益	112,109	114,356	115,883	1,527	3,774
	計	1,950,799	2,479,332	2,333,222	△ 146,110	382,423
特別利益	50,214	30,000	109,497	79,497	59,283	
合計	16,915,278	18,256,351	18,419,447	163,096	1,504,169	
病院事業費用	給与費	8,093,151	8,662,583	8,385,077	△ 277,506	291,926
	材料費	4,326,877	4,475,495	4,441,120	△ 34,375	114,243
	経費	2,158,403	2,368,435	2,286,568	△ 81,867	128,165
	減価償却費	1,646,184	1,583,864	1,528,232	△ 55,632	△ 117,952
	資産減耗費	21,942	16,573	22,275	5,702	333
	研究研修費	88,392	134,792	97,589	△ 37,203	9,197
	計	16,334,949	17,241,742	16,760,861	△ 480,881	425,912
	支払利息等	835,256	852,318	807,278	△ 45,040	△ 27,978
	繰延勘定償却	154,628	394,752	388,896	△ 5,856	234,268
	負担金	47,704	28,815	60,791	31,976	13,087
消費税	14,465	16,621	17,847	1,226	3,382	
雑損	33	0	3,333	3,333	3,300	
計	1,052,086	1,292,506	1,278,145	△ 14,361	226,059	
特別損失	187,484	59,218	486,794	427,576	299,310	
合計	17,574,519	18,593,466	18,525,800	△ 67,666	951,281	
經常損益	△ 521,971	△ 307,897	270,944	578,841	792,915	
特別損益	△ 137,270	△ 29,218	△ 377,297	△ 348,079	△ 240,027	
収益の収支差引	△ 659,241	△ 337,115	△ 106,353	230,762	552,888	

(2) 資本的収支

(単位:千円, 税込み)

区分	H20決算 (A)	H21当初 (=経営計画) (B)	H21決算見込 (C)	計画比較 (C)-(B)	決算比較 (C)-(A)	
資本的収入	企業債	1,868,700	1,360,000	981,000	△ 379,000	△ 887,700
	出資金	1,060,017	1,243,052	1,229,136	△ 13,916	169,119
	他会計長期借入金	398,707	803,527	802,805	△ 722	404,098
	固定資産売却代金	420	0	0	0	△ 420
	補助金	0	0	12,840	12,840	12,840
	その他雑収益等	12,879	18,128	16,276	△ 1,852	3,397
合計	3,340,723	3,424,707	3,042,057	△ 382,650	△ 298,666	
資本的支出	建設改良費	1,310,279	1,212,155	925,571	△ 286,584	△ 384,708
	資産購入費	620,320	718,128	523,331	△ 194,797	△ 96,989
	訳 建設工事費	689,959	494,027	402,240	△ 91,787	△ 287,719
	企業債償還金	2,112,096	2,773,146	2,730,741	△ 42,405	618,645
	長期借入金償還金	34,550	180,477	177,130	△ 3,347	142,580
	繰延勘定等	625,191	192,900	106,147	△ 86,753	△ 519,044
合計	4,082,116	4,358,678	3,939,589	△ 419,089	△ 142,527	
資本的収支差引	△ 741,393	△ 933,971	△ 897,532	36,439	△ 156,139	

(3) 資金収支

単年度資金収支	431,268	741,578	1,327,279	585,701	896,011
---------	---------	---------	-----------	---------	---------

(4) 患者数等の推移

入院延患者数(人)	206,259	216,875	213,768	△ 3,107	7,509
病床利用率(%)	80.7	85.0	83.7	△ 1.3	3.0
外来延患者数(人)	310,600	309,627	319,596	9,969	8,996

Ⅲ 安芸津病院

3 県立安芸津病院(平成21年度決算見込)

(1) 収益の収支(損益収支)

(単位:千円, 税込み)

区分	H20決算 (A)	H21当初 (=経営計画) (B)	H21決算見込 (C)	計画比較 (C)-(B)	決算比較 (C)-(A)	
病院事業収益	入院収益	997,285	988,675	830,984	△ 157,691	△ 166,301
	外来収益	582,344	669,702	598,358	△ 71,344	16,014
	その他医業収益	96,464	98,684	94,512	△ 4,172	△ 1,952
	計	1,676,093	1,757,061	1,523,854	△ 233,207	△ 152,239
	受取利息等	0	0	91	91	91
	他会計補助金	64,648	85,662	80,546	△ 5,116	15,898
	補助金	0	0	0	0	0
	負担金交付金	103,311	159,137	140,847	△ 18,290	37,536
	その他医業外収益	9,021	9,441	7,533	△ 1,908	△ 1,488
	計	176,980	254,240	229,017	△ 25,223	52,037
特別利益	315	0	1,815	1,815	1,500	
合計	1,853,388	2,011,301	1,754,686	△ 256,615	△ 98,702	
病院事業費用	給与費	1,210,366	1,302,082	1,193,390	△ 108,692	△ 16,976
	材料費	330,966	354,959	300,782	△ 54,177	△ 30,184
	経費	409,379	407,606	375,628	△ 31,978	△ 33,751
	減価償却費	104,465	111,485	104,130	△ 7,355	△ 335
	資産減耗費	2,606	2,100	2,184	84	△ 422
	研究研修費	6,476	13,327	5,043	△ 8,284	△ 1,433
	計	2,064,258	2,191,559	1,981,157	△ 210,402	△ 83,101
	支払利息等	79,180	20,802	13,775	△ 7,027	△ 65,405
	繰延勘定償却	2,553	34,461	37,183	2,722	34,630
	負担金	11,738	5,062	4,985	△ 77	△ 6,753
消費税	1,217	1,217	1,229	12	12	
雑損失	0	500	65	△ 435	65	
計	94,688	62,042	57,237	△ 4,805	△ 37,451	
特別損失	4,601	2,085	4,125	2,040	△ 476	
合計	2,163,547	2,255,686	2,042,519	△ 213,167	△ 121,028	
経常損益	△ 305,873	△ 242,300	△ 285,523	△ 43,223	20,350	
特別損益	△ 4,286	△ 2,085	△ 2,310	△ 225	1,976	
収益の収支差引	△ 310,159	△ 244,385	△ 287,833	△ 43,448	22,326	

(2) 資本的収支

(単位:千円, 税込み)

区分	H20決算 (A)	H21当初 (=経営計画) (B)	H21決算見込 (C)	計画比較 (C)-(B)	決算比較 (C)-(A)	
資本的収入	企業債	261,900	79,000	67,000	△ 12,000	△ 194,900
	出資金	80,736	98,349	111,595	13,246	30,859
	他会計長期借入金	1,125,516	45,345	46,067	722	△ 1,079,449
	固定資産売却代金	0	0	0	0	0
	補助金	0	0	2,160	2,160	2,160
	その他雑収益等	0	0	0	0	0
合計	1,468,152	222,694	226,822	4,128	△ 1,241,330	
資本的支出	建設改良費	146,279	82,854	75,154	△ 7,700	△ 71,125
	内 資産購入費	143,790	51,238	53,153	1,915	△ 90,637
	認識 建設工事費	2,489	31,616	22,001	△ 9,615	19,512
	企業債償還金	1,261,428	108,911	148,915	40,004	△ 1,112,513
	長期借入金償還金	3,976	103,218	106,565	3,347	102,589
	繰延勘定等	118,334	0	0	0	△ 118,334
	合計	1,530,017	294,983	330,634	35,651	△ 1,199,383
資本的収支差引	△ 61,865	△ 72,289	△ 103,812	△ 31,523	△ 41,947	

(3) 資金収支

単年度資金収支	△ 259,062	△ 168,443	△ 247,140	△ 78,697	11,922
---------	-----------	-----------	-----------	----------	--------

(4) 患者数等の推移

入院延患者数 (人)	37,695	32,850	28,689	△ 4,161	△ 9,006
病床利用率 (%)	68.8	90.0	78.6	△ 11.4	9.8
外来延患者数 (人)	94,355	107,249	94,751	△ 12,498	396

平成21年度決算見込

1 収支計画の達成状況【貸借】（4）

病院事業比較貸借対照表(平成22年3月31日現在)

(単位：千円)

区 分 科 目	21年度末		20年度末		対前年度末比較	
	金 額 千円	構成比率 %	金 額 千円	構成比率 %	金 額 千円	比 率 %
固定資産	21,118,055	74.9	22,223,681	74.8	△ 1,105,626	95.0
有形固定資産	21,004,931	74.5	22,133,702	74.5	△ 1,128,771	94.9
土地	1,980,969	7.0	1,980,969	6.7	0	100.0
建物	16,026,555	56.8	16,835,813	56.8	△ 809,258	95.2
構築物	108,767	0.4	127,689	0.4	△ 18,922	85.2
器械備品	2,878,227	10.2	2,990,210	10.1	△ 111,983	96.3
車両	2,482	0.0	3,079	0.0	△ 597	80.6
建設仮勘定	7,931	0.0	195,942	0.7	△ 188,011	4.0
無形固定資産	110,332	0.4	86,755	0.3	23,577	127.2
電話加入権	3,319	0.0	3,319	0.0	0	100.0
その他無形固定資産	107,014	0.4	83,437	0.3	23,577	128.3
投資	2,792	0.0	3,224	0.0	△ 432	86.6
その他投資	2,792	0.0	3,224	0.0	△ 432	86.6
流動資産	5,330,605	18.9	5,446,575	18.3	△ 115,970	97.9
現金預金	1,845,036	6.5	2,108,128	7.1	△ 263,093	87.5
未収金	3,183,290	11.3	3,044,357	10.2	138,933	104.6
貯蔵品	241,145	0.9	231,758	0.8	9,386	104.1
前払費用	134	0.0	1,331	0.0	△ 1,197	10.1
その他流動資産	61,000	0.2	61,000	0.2	0	100.0
繰延勘定	1,758,389	6.2	2,033,441	6.8	△ 275,052	86.5
開発費	834,721	3.0	963,488	3.2	△ 128,767	86.6
退職給与金	570,290	2.0	712,862	199.6	△ 142,572	80.0
控除対象外消費税額	353,378	1.3	357,091	1.2	△ 3,712	99.0
資産合計	28,207,049	100.0	29,703,697	100.0	△ 1,496,647	95.0

(単位：千円)

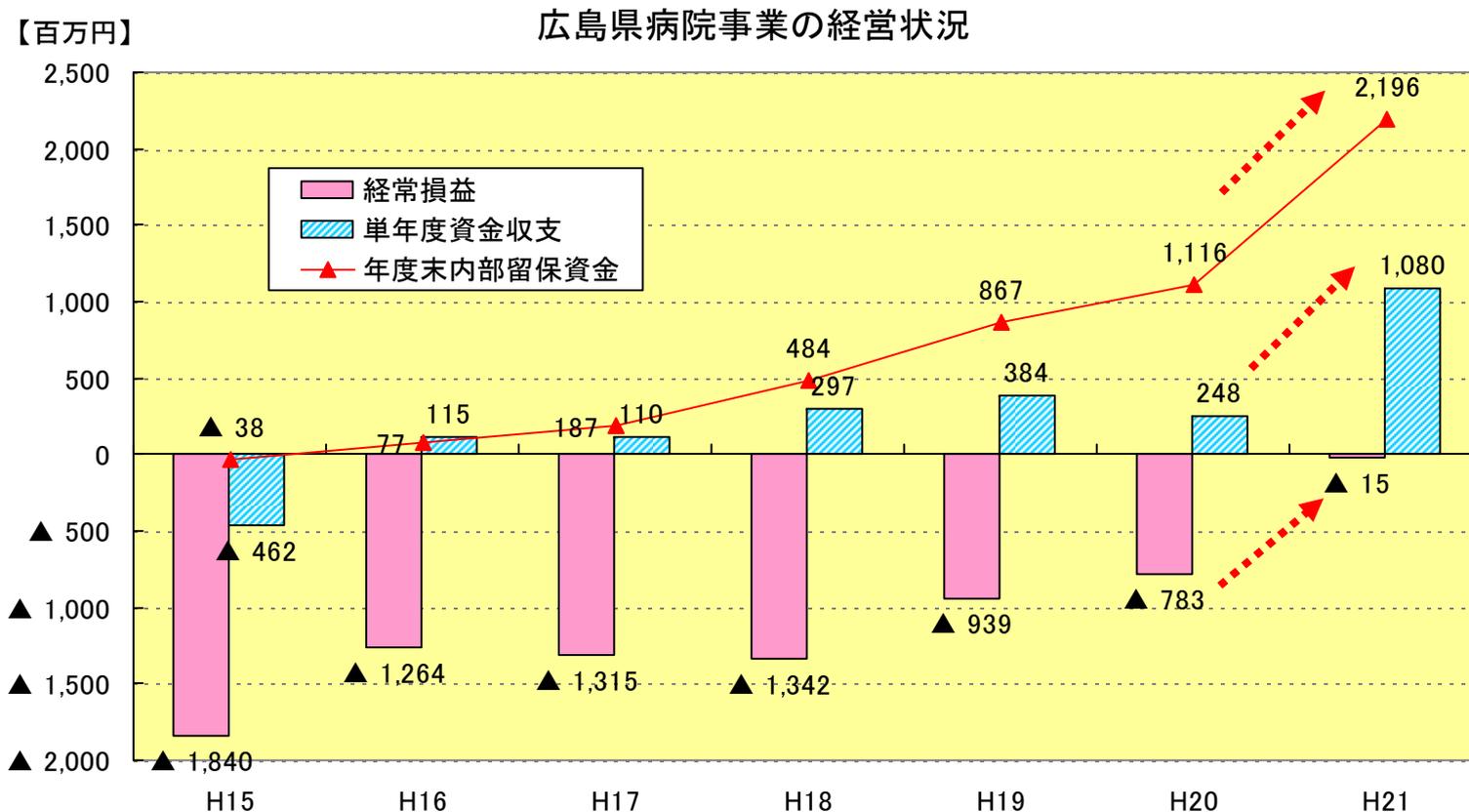
区 分 科 目	21年度末		20年度末		対前年度末比較	
	金 額 千円	構成比率 %	金 額 千円	構成比率 %	金 額 千円	比 率 %
負債	806,860	2.9	949,060	3.2	△ 142,200	85.0
企業債	568,800	2.0	711,000	2.4	△ 142,200	80.0
引当金	238,060	0.8	238,060	0.8	0	100.0
流動負債	2,896,759	10.3	4,092,867	13.8	△ 1,196,109	70.8
未払金	2,759,273	9.8	3,909,696	13.2	△ 1,150,424	70.6
前受金	3,297	0.0	3,297	0.0	0	100.0
その他流動負債	134,189	0.5	179,874	0.6	△ 45,685	74.6
預り金	73,189	0.3	118,874	0.4	△ 45,685	61.6
預り有価証券	61,000	0.2	61,000	0.2	0	100.0
合計	3,703,619	13.1	5,041,928	17.0	△ 1,338,309	73.5
資本	52,455,243	186.0	52,238,791	175.9	216,452	100.4
自己資本	24,629,069	87.3	23,288,338	78.4	1,340,731	105.8
固有資本	170,770	0.6	170,770	0.6	0	100.0
繰入資本	24,068,438	85.3	22,727,707	76.5	1,340,731	105.9
組入資本	389,861	1.4	389,861	1.3	0	100.0
借入資本	27,826,174	98.6	28,950,453	97.5	△ 1,124,279	96.1
企業債	24,025,831	85.2	25,715,287	86.6	△ 1,689,456	93.4
他会計借入金	3,800,342	13.5	3,235,166	10.9	565,176	117.5
剰余金	△ 27,951,812	△ 99.1	△ 27,577,022	△ 92.8	△ 374,790	101.4
資本剰余金	1,042,474	3.7	1,021,327	3.4	21,148	102.1
利益剰余金	△ 28,994,287	△ 102.8	△ 28,598,349	△ 96.3	△ 395,938	101.4
当年度末処理欠損金	△ 28,994,287	△ 102.8	△ 28,598,349	△ 96.3	△ 395,938	101.4
合計	24,503,430	86.9	24,661,769	83.0	△ 158,339	99.4
負債資本合計	28,207,049	100.0	29,703,697	100.0	△ 1,496,647	95.0

1 広島病院

区分	数値目標	21年度実績	達成状況
1. 病床利用率	85%以上	83.7%	年度前半の低迷が響き、未達
2. 紹介率	65%以上	67.5%	21年度達成
3. 逆紹介率	65%以上	70.7%	21年度達成
4. 救急患者受入数	1日平均16人以上	1日平均17.2人	21年度達成
5. NICU・GCU患者受入数	年間8,200人以上	年間8,422人	21年度達成
6. がん登録件数	年間1,000件以上	年間1,721件	21年度達成
7. 前期臨床研修医受入数	20名以上	20名	21年度達成
8. 後期臨床研修医受入数	50名以上	31名	医師が確保できず、未達
9. 認定・専門看護師の養成	毎年5名以上(安芸津と共通)	5名	21年度達成
10. 財務指標	経常収支▲308百万円(H21) ～経常収支黒字化(H24)	経常収支+271百万円 【経常黒字】	21年度達成

2 安芸津病院

区分	数値目標	21年度実績	備考
1. 病床利用率	90%以上	78.6%	低迷が続き、未達
2. 認定・専門看護師の養成	毎年5名以上(広島と共通)	—	—
3. 財務指標	資金収支▲168百万円(H21) ～資金収支黒字化(H25)	資金収支▲247百万円	資金収支悪化、未達



平成21年度は、経常損益の計画値(▲5億5,000万円)を大幅に上回る改善となり、▲1,500万円(税込み)。年度末内部留保資金は、約22億円に達し、一般会計からの長期借入金12億円を22年4月に一括返済した。

経営状況

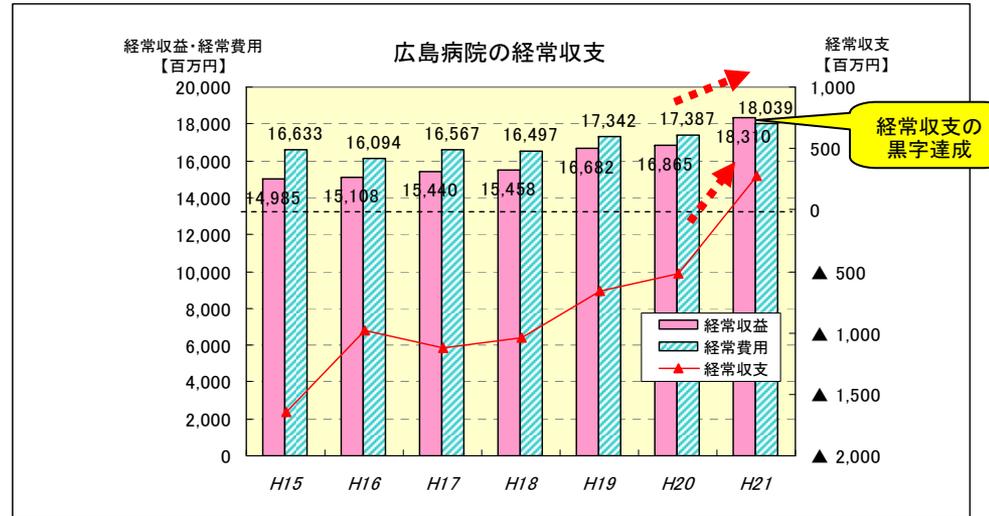
2 経常収支の推移

<広島病院>

21年度決算では、
 経常収益は、183億円(対計画+0.8億円)(対前年+14.4億円)、
 経常費用は、180億円(対計画▲5.0億円)(対前年+ 6.5億円)、
 経常収支は、2億7,100万円の黒字を達成。

～経常収支比率101.5%(対計画+3.2ポイント)(対前年+4.5ポイント)
 ～単年度経常収支黒字は、19年ぶり

経営計画では、平成24年度までに経常収支黒字を目標としているが、初年度で達成した。



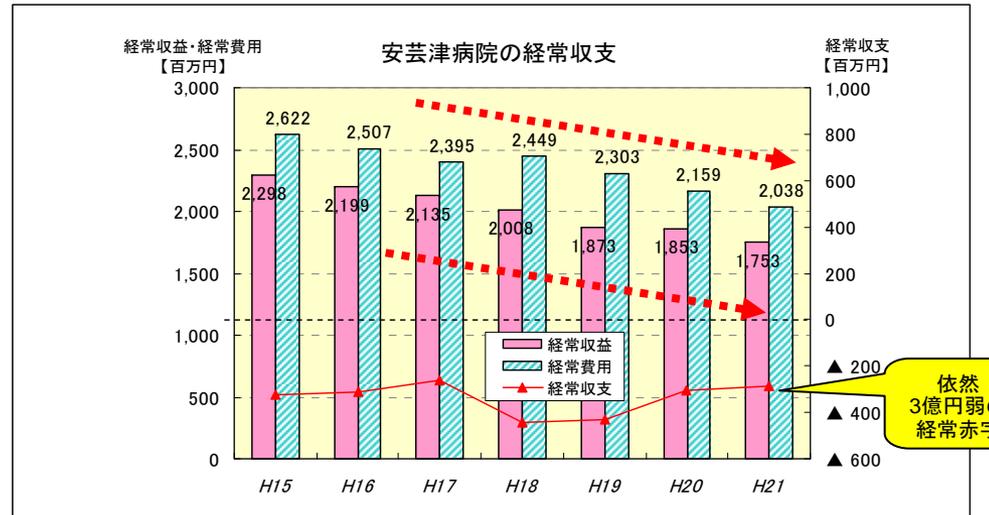
経常収支の黒字達成

<安芸津病院>

21年度決算では、
 経常収益は、17.5億円(対計画▲2.6億円)(対前年▲1.0億円)、
 経常費用は、20.4億円(対計画▲2.2億円)(対前年▲1.2億円)、
 経常収支は、2億8,500万円の赤字。

経常収支比率86.0%(対計画▲3.2ポイント)(対前年+0.2ポイント)

～収益・費用の減少が続いているが、毎年2～4億円の赤字が平成3年以降続いている。(経常赤字は平成元年から)



依然3億円の経常赤字

<広島病院>

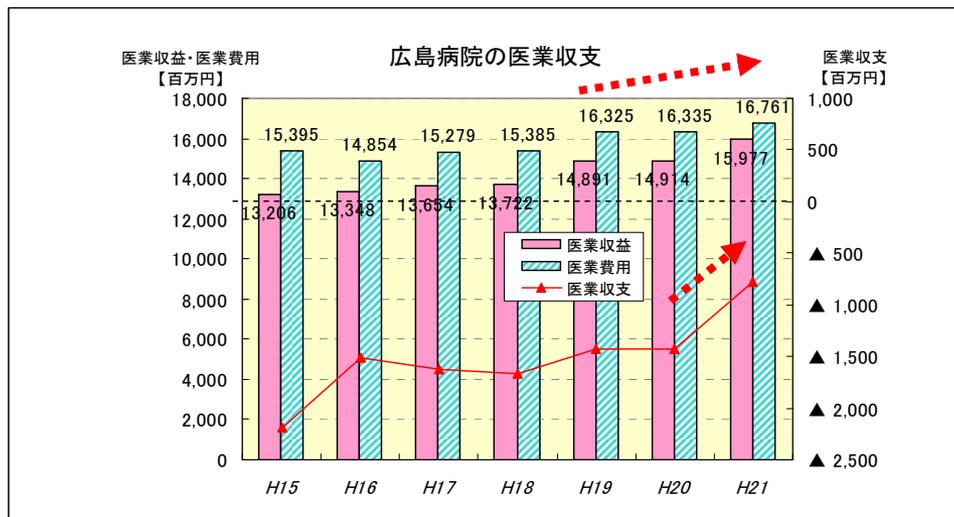
21年度決算では、

医業収益は、160億円(対計画+2.3億円)(対前年+10.6億円)、

医業費用は、168億円(対計画▲1.8億円)(対前年+ 4.3億円)、

医業収支は、7億8,400万円の赤字。

～医業収支比率95.3%(対計画+4.0ポイント)(対前年+4.0ポイント)



<安芸津病院>

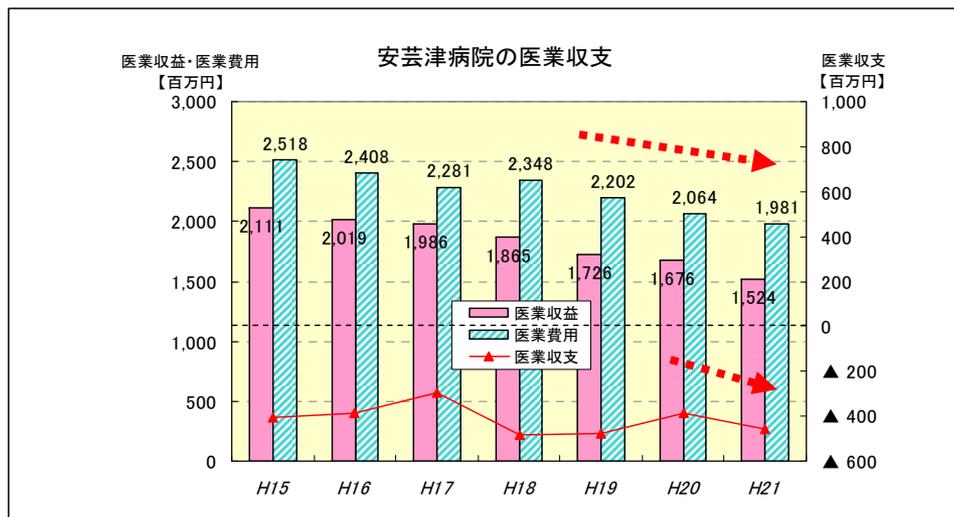
21年度決算では、

医業収益は、15億円(対計画▲2.3億円)(対前年▲1.5億円)、

医業費用は、20億円(対計画▲1.5億円)(対前年▲0.8億円)、

医業収支は、4億5,700万円の赤字。

～医業収支比率76.9%(対計画▲3.3ポイント)(対前年▲4.3ポイント)



<広島病院>

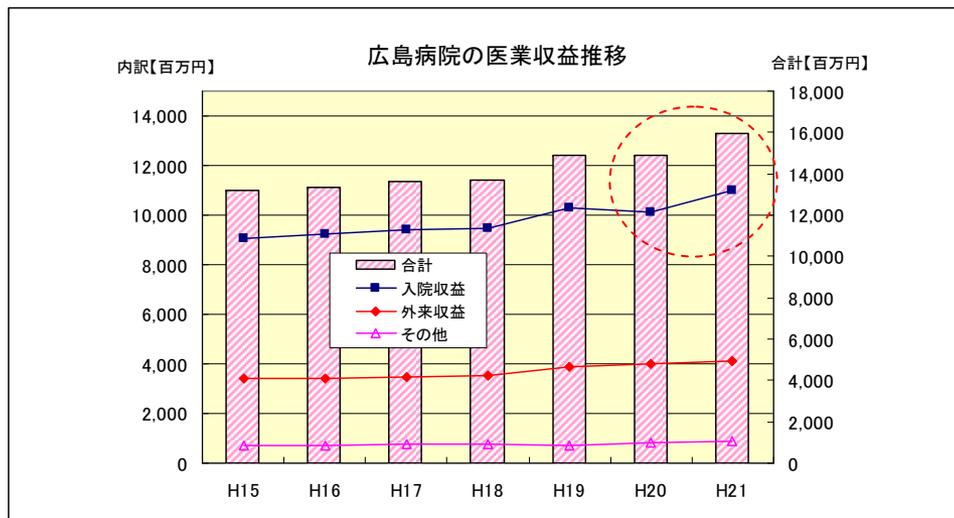
21年度決算で

前年より10.6億円増収した医業収益の内訳は

入院収益110億円(対計画+1.0億円)(対前年+8.8億円),

外来収益 41億円(対計画+1.1億円)(対前年+1.5億円),

となっており, 入院収益の増加が著しい。



<安芸津病院>

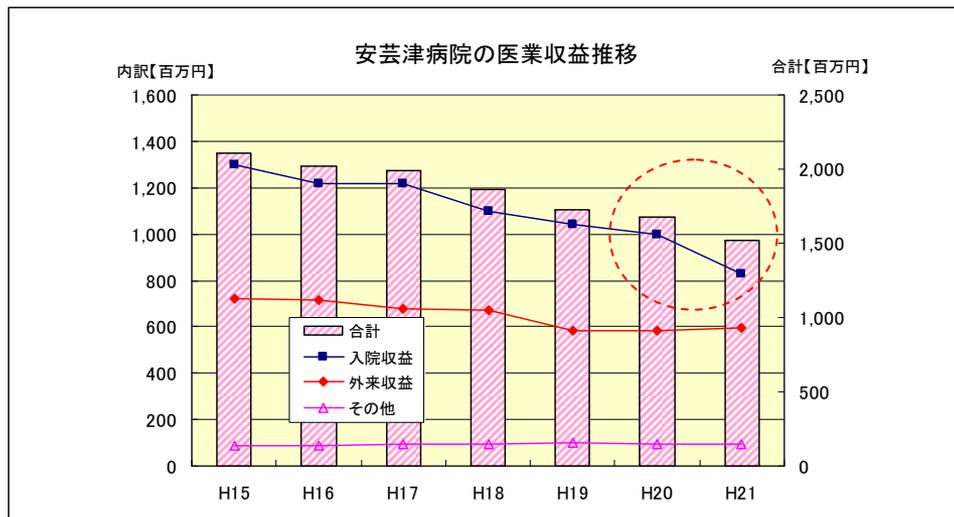
21年度決算で

前年より1.5億円減収した医業収益の内訳は

入院収益8.3億円(対計画▲1.6億円)(対前年▲1.7億円),

外来収益6.0億円(対計画▲7,100万円)(対前年+1,600円),

となっており, 外来収益は前年並みであるものの, 病床規模を見直し, 50床休床したことも影響して, 入院収益が大きく減少している。



<広島病院(H21年度の状況)>

《入院》

○病床利用率は、新型インフルエンザへの対応で入院を抑制したこともあり、目標の85%には達しなかったものの、医師不足や成育医療センター整備等の影響により、80.7%と落ち込んだ20年度に比べ3.0%上昇し、83.7%であった。

最も利用率が高かったのは、22年3月の88.2%。

○入院単価は、目標の50,250円(前年度49,070円)を大きく超え、51,446円であった。これは、

- ・平均在院日数の着実な短縮【14.4日(対前年▲1.2日):年度末】

- ・新規入院の増【12,745人(対前年+500人)】

- ・手術件数(手術室分)の増【5,995件(対前年+414件)】

(1万~3万点未満の手術~+275件, 3万点以上の手術~+246件)

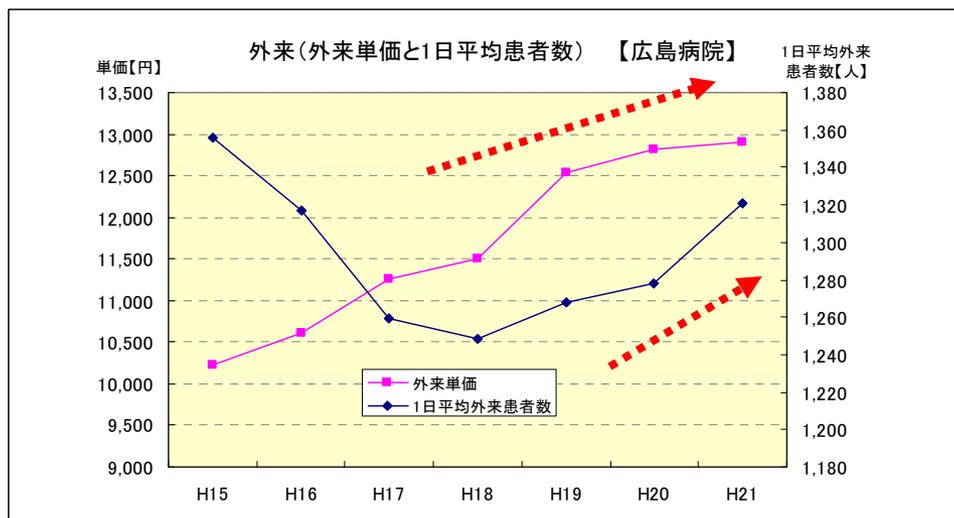
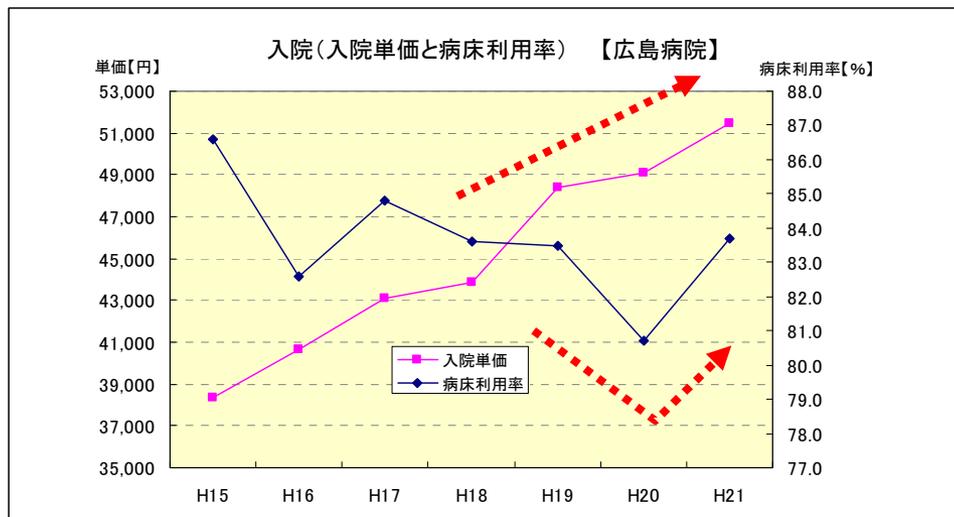
などによるものである。

最も単価が高かったのは、22年2月の54,435円。

《外来》

○1日平均外来患者数は、目標の1,280人を41人上回る1,321人で、目標を達成している。

○外来単価は、目標の12,985円にわずかに73円及ばない12,911円であったが、前年度の12,811円に対しては、上昇している。



<安芸津病院(21年度の状況)>

《入院》

○病床利用率は、21年度から50床休床し100床で運用したことから上昇し、78.6%であった。5月以降低い利用率が続く、22年2月には86.5%まで回復したものの、目標の90%には遠く及ばなかった。

新規入院患者が1,365人で前年度に比べ333人減少していることが要因。

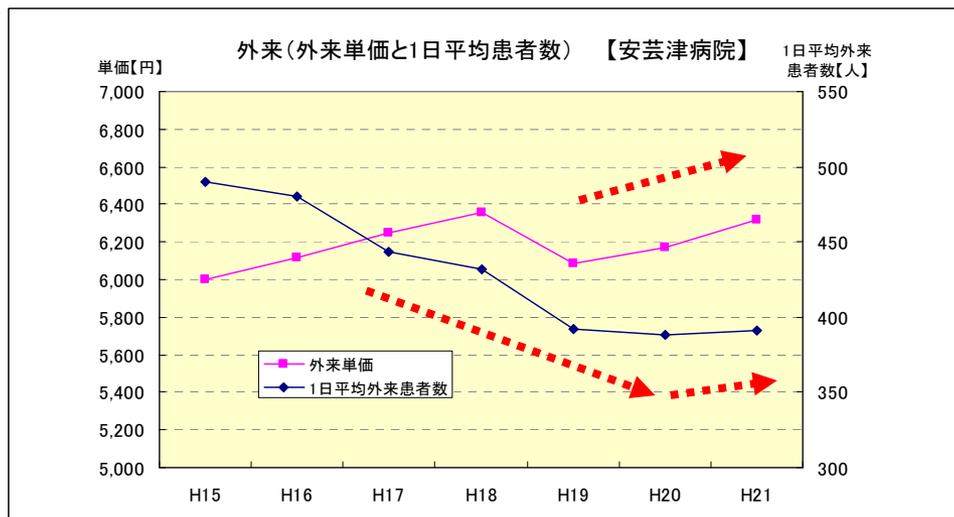
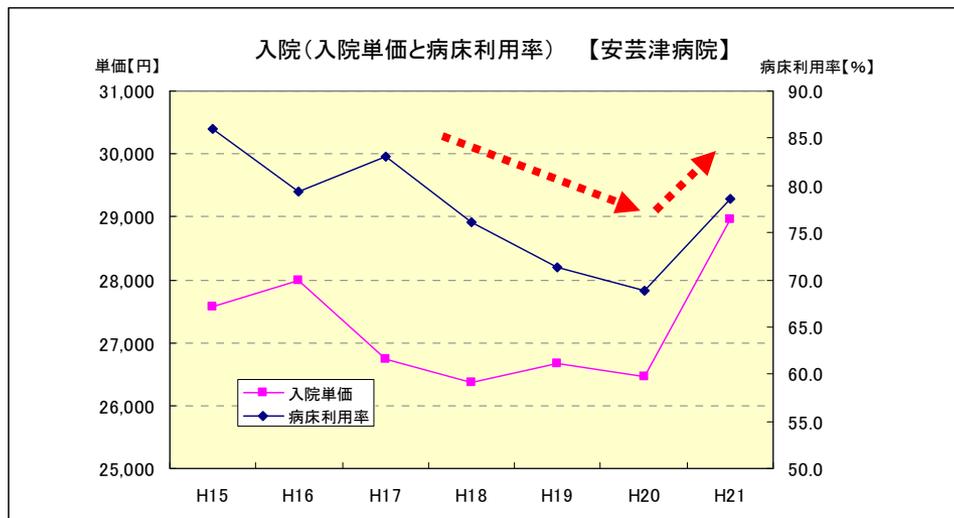
○入院単価は、目標の30,097円は達成できなかったが、30,000円台を超えた月が7月と2月の2回あるなど、前年度より2,509円上昇した28,965円であった。これは、

- ・10対1看護の導入(H21.4～)
- ・レセプト点検等による、算定漏れの検証と徹底などによるものである。

《外来》

○1日平均外来患者数は、目標の443人を52人下回る392人であったが、前年度に比べると+3人で微増している。

○外来単価は、目標の6,244円(前年度6,172円)を71円上回る6,315円であった。



<広島病院(21年度の状況)>

《医業費用》

総額では、前年度より4.3億円増加しているが、目標額に対し1.8億円少なかった。対前年増加額のうち、69%は給与費。

○給与費は、

- ・医師処遇改善のための初任給調整手当の増額
- ・後期研修医の常勤化(任期付)

などにより、2.9億円増加しているが、対医業収益比率は52.5%で前年度に比べ1.8ポイント低下している。

○材料費は、診療収益の増に伴って増加するところ、

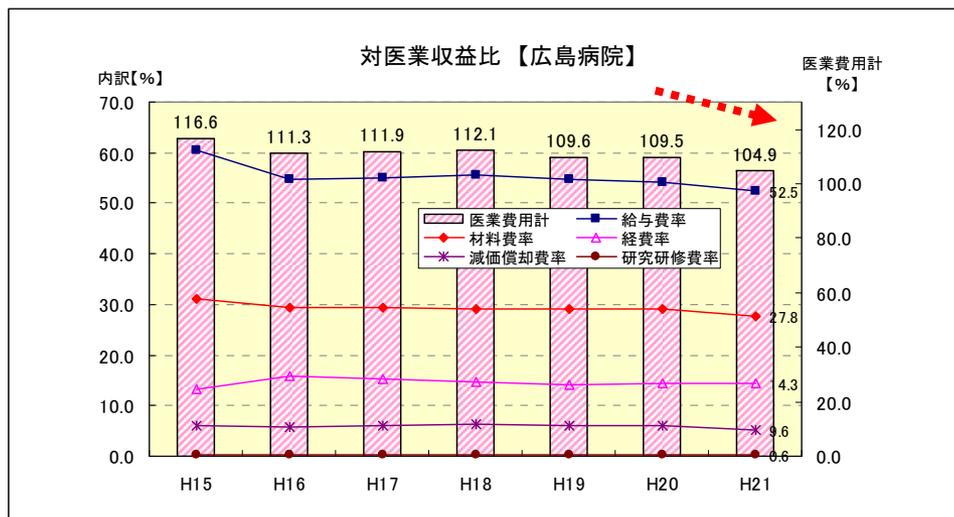
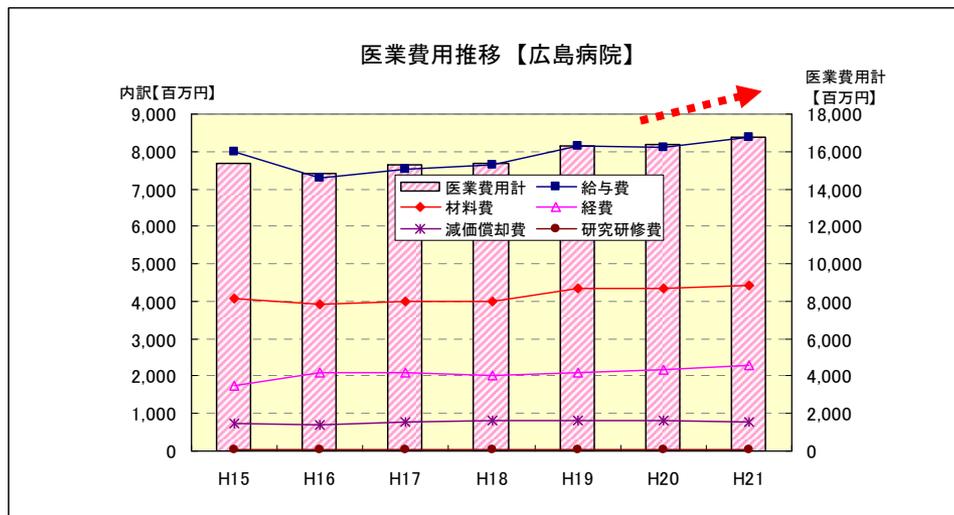
- ・材料、医薬品の購入価格の低下(コンサルの助言活用)
- ・後発医薬品の採用推進

などにより、1.1億円の増加に留まり、対医業収益比率も27.8%となり、前年度に比べ1.2ポイント低下している。

○経費は、1.3億円増加したが、対医業収益比率は14.3%となり、前年度に比べ0.2ポイント低下している。

○減価償却費は、建物の償却がピークを超え、漸減しているが、対医業収益比率9.6%は、他病院と比較しても高い水準。

○研究研修費は、人材育成に必要な経費として、増加している。



<広島病院(21年度の状況)>

《医業費用の伸び》

○平成15年度を100とした場合の医業費用の伸び率は、9%であり、医業収益の伸び(21%)より小さい。

○内訳を見ると、

給与費+5%、材料費+9%、経費+30%、減価償却費+5%、研究研修費+62%となっており、経費、研究研修費は医業収益の伸び伸び率を大きく上回っている。

○経費は5億2,300万円増加し、研究研修費は3,700万円増加している。

○経費のうち、増加が顕著なものは、委託料で、対15年度比3億5,300万円(+33.9%)増加しており、経費増加額の67.5%を占める。

○給食部門を委託した16年度に大きく増加した後、若干減少していたが、19年度以降増加を続けており、引き続き、収益に見合う適切な執行に努める。

平成15年度を100とした場合の伸び率

(増加額:百万円)

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	増加額
医業収益	100%	101%	103%	104%	113%	113%	121%	2,711
医業費用	100%	96%	99%	100%	106%	106%	109%	1,366

給与費	100%	91%	94%	96%	102%	101%	105%	377
材料費	100%	96%	98%	98%	106%	106%	109%	350
経費	100%	120%	118%	115%	119%	122%	130%	523
減価償却費	100%	98%	107%	111%	113%	113%	105%	73
研究研修費	100%	126%	138%	137%	131%	146%	162%	37

平成15年度からの増加額の大きいもの

(百万円, %)

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	増加額
経費	1,764	2,109	2,088	2,025	2,107	2,158	2,286	+523 +30%

委託料	1,042	1,308	1,295	1,273	1,305	1,318	1,394	+353 +34%
賃借料	65	80	89	89	96	113	117	+52 +80%
光熱水費	390	418	411	420	432	453	437	+47 +12%
保険料	25	45	43	36	41	44	67	+42 +168%

<安芸津病院(21年度の状況)>

《医業費用》

総額では、前年度より8,300万円減少し、目標額に対しても2.1億円少なかった。対前年減少額の内訳は、給与費20%、材料費36%、経費41%。

○給与費は、

- ・医師処遇改善のための初任給調整手当を増額したものの
- ・50床休床に伴う看護職員数の見直し(▲19人)

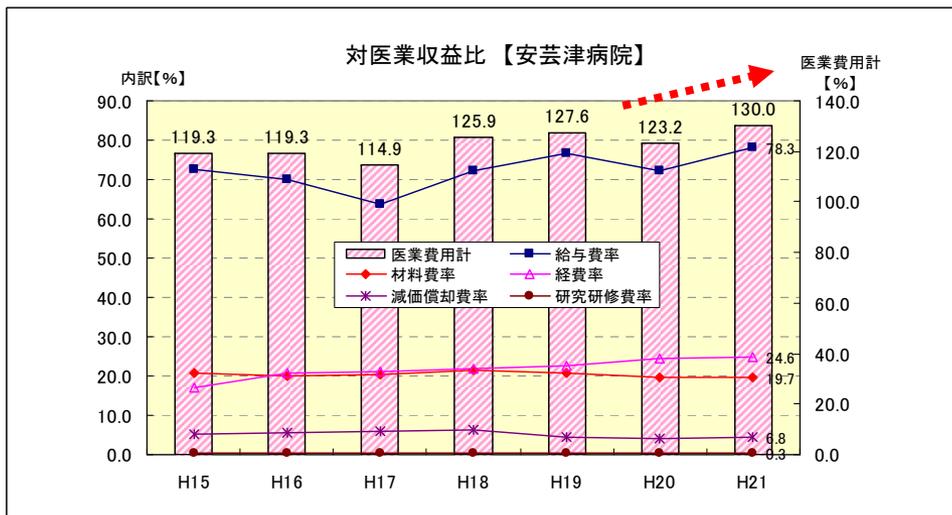
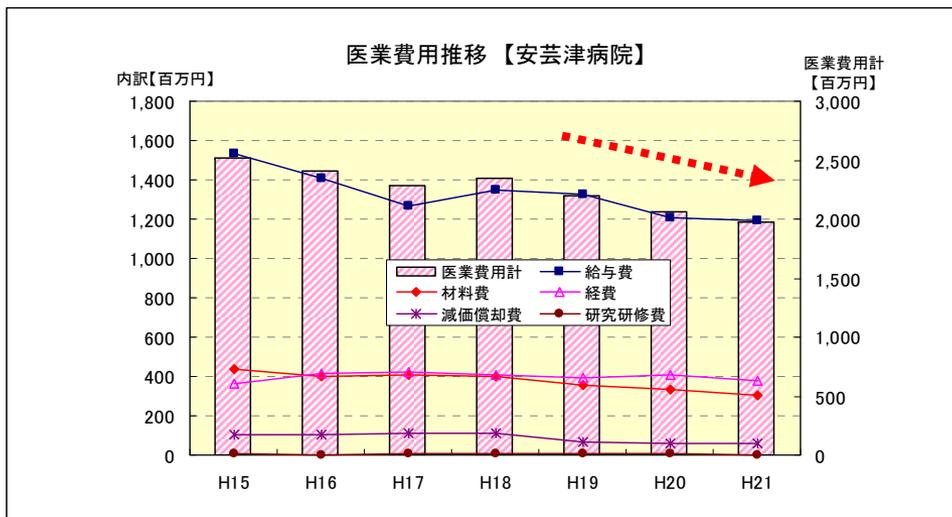
などにより、1.2億円減少したが、退職金が1.1億円増加したため、減少額は1,700万円に留まった。対医業収益比率は78.3%で前年度より6.1ポイント上昇。

○材料費は、診療収益の減少に伴い3,000万円減少。対医業収益比率は19.7%で横ばい。

○経費は、光熱水費や委託料の節減などにより、前年度より3,400千円減少したが、対医業収益比率は24.6%で前年度より0.2ポイント上昇した。

○減価償却費は、ほぼ横ばい。

○研究研修費は、前年度から140万円減少しており、対医業収益比率は0.3%で前年度より0.1ポイント低下した。



<安芸津病院(21年度の状況)>

《医業費用の伸び》

○平成15年度を100とした場合、医業収益は28%減少しているのに対し、医業費用は21%の縮小で、医業費用の縮小幅が小さい。

○内訳を見ると、

給与費▲22%、材料費▲32%、経費+4%、減価償却費▲41%、研究研修費▲27%となっており、給与費が医業収益の減少に対して下げ幅が小さいこと、逆に経費は増加している。

○経費では、対15年度比で賃借料の1,000万円削減(▲21%)、旅費交通費の500万円削減(▲63.5%)などを行っているが、診療援助に伴う報償費の2,000万円増加(+111.6%)、委託料の700万円の増加(+3.3%)などにより、1,500万円の増加となっている。

平成15年度を100とした場合の伸び率

(増加額:百万円)

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	増減額
医業収益	100%	96%	94%	88%	82%	79%	72%	▲588
医業費用	100%	96%	91%	93%	87%	82%	79%	▲537

給与費	100%	92%	82%	88%	86%	79%	78%	▲340
材料費	100%	91%	93%	90%	82%	75%	68%	▲139
経費	100%	115%	117%	113%	108%	113%	104%	15
減価償却費	100%	98%	102%	103%	65%	59%	59%	▲72
研究研修費	100%	88%	97%	89%	97%	94%	73%	▲2

平成15年度からの増減額の大きいもの

(百万円, %)

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	増加額
経費	361	416	422	406	391	409	376	+15 +30%

報償費	18	21	36	32	32	33	38	+20 +112%
委託料	202	250	248	240	227	232	209	+7 +3%
賃借料	46	45	39	39	37	38	36	▲10 ▲21%
旅費交通費	8	7	5	3	4	3	3	▲5 ▲64%

他病院との比較

1 機能性 (1) 広島病院

● 比較病院の選定条件

(1) 広島病院と同規模(500床以上)の経常収支が黒字の自治体立病院(33病院)の平均

(2) 広島病院と同規模の県立病院で次の条件に当てはまる病院(専門病院(センター化病院)は除く。)⇒ (ア) 経常収支が黒字, (イ) 県立の中核病院

上記(1) 上記(2)

(他病院データは20年度決算数値)

項目	広島病院		500床以上	7病院	岩手県	石川県	兵庫県	徳島県	愛媛県	大分県	宮崎県
	20年度	21年度 (見込み)	黒字病院	平均	中央病院	中央病院	尼崎病院	中央病院	中央病院	県立病院	宮崎病院
医業損益(千円)	△ 1,136,581	△ 491,710	△ 636,970	△ 153,401	177,879	665,170	△ 225,857	△ 196,295	△ 341,421	△ 376,979	△ 776,304
医業収支比率(%)	92.9	97.0	95.8	98.6	101.1	105.3	98.2	97.9	98.3	96.7	92.5
経常損益(千円)	△ 525,116	268,595	340,716	362,929	878,011	744,192	170,576	404,409	75,638	106,422	161,254
経常収支比率(%)	97.0	101.5	102.1	102.7	105.0	105.7	101.3	104.2	100.4	100.9	101.5
一般病床数(床)	671	650	—	603	685	662	492	430	825	514	613
総病床数(床)	721	700	—	623	685	662	500	500	864	520	630
救急告示病床数(床)	25	25	—	28	20	43	12	30	30	32	27
入院基本料(看護基準)	7:1	7:1	—	—	7:1	10:1	7:1	10:1	10:1	10:1	7:1
病床利用率(一般)(%) ①	81.6	85.1	86.3	83.4	88.0	80.9	93.0	80.4	87.3	84.3	70.0
病床利用率(全体)(%)	80.7	83.7	84.9	82.0	87.3	80.9	91.5	78.8	83.7	83.4	68.1
平均在院日数(一般病床)(日) ②	16.5	14.7	14.4	15.0	13.1	15.5	14.9	15.4	15.3	14.5	16.4
外来入院患者比率(%)	150.6	149.5	164.6	130.2	137.4	119.4	168.2	111.6	152.6	120.9	101.1
患者1人1日当り入院収益(円) ③	49,029	51,407	48,708	49,662	50,201	48,796	54,738	47,659	51,773	46,414	48,050
患者1人1日当り外来収益(円)	12,784	12,880	12,891	11,644	11,815	14,048	10,652	11,042	9,963	13,470	10,515
病床1床当り診療収入(千円)	19,533	21,579	—	19,864	22,571	19,362	24,277	17,242	20,450	20,566	14,579
医師1人1日当り診療収入(円) ④	258,398	252,446	—	266,496	254,000	270,136	262,336	291,722	238,535	266,000	282,745
医師1人1日当り入院患者数(人)	3.8	3.6	4.0	4.1	3.8	4.1	3.6	4.9	3.6	4.2	4.8
医師1人1日当り外来患者数(人)	5.7	5.3	6.6	5.3	5.3	4.9	6.1	5.4	5.4	5.1	4.9
看護師1人1日当り診療収入(円)	63,035	61,978	—	67,454	70,346	73,345	73,241	63,883	59,553	69,981	61,826
看護師1人1日当り入院患者数(人)	0.9	0.9	1.0	1.1	1.1	1.1	1.0	1.1	0.9	1.1	1.1
看護師1人1日当り外来患者数(人)	1.4	1.3	1.7	1.4	1.5	1.3	1.7	1.2	1.4	1.3	1.1

※ 地方公営企業年鑑のデータによる。なお、一部不明な箇所は「-」としている。(次表以下同じ。)

■ 特長

- ① 病床利用率は向上したものの平均よりやや低い。
- ② 平均在院日数は、短縮化が進んでいるが、平均よりは少し長い。
- ③ 入院・外来単価はほぼ平均並み。
- ④ 職員(医師・看護師)1人当たりの診療収入・患者数は、平均より低い。

他病院との比較

1 機能性 (2) 安芸津病院

●比較病院の選定条件

- (1) 安芸津病院と同規模(100~200床)の経常収支が黒字の自治体立病院(49病院)の平均
- (2) 安芸津病院と同規模の県立病院で次の条件に当てはまる病院(精神病院等の専門病院は除く。)
 - ⇒ (ア) 経常収支比率, 医業収支比率が共に90%以上, (イ) 不採算地区病院ではない

項目	安芸津病院		上記(1)	上記(2)	岩手県 千厩病院	香川県 白鳥病院	鹿児島県 薩南病院
	20年度	21年度 (見込み)	100床以上 200床未満 黒字病院	3病院 平均			
医業損益(千円)	△ 355,840	△ 428,115	△ 205,560	△ 159,229	△ 230,914	△ 243,015	△ 3,759
医業収支比率(%)	82.5	78.1	89.4	93.8	91.6	90.1	99.8
経常損益(千円)	△ 306,018	△ 285,351	59,943	△ 109,788	△ 229,876	△ 47,443	△ 52,045
経常収支比率(%)	85.8	86.0	102.9	96.2	92.4	98.1	98.0
一般病床数(床)	150	100	—	164	190	150	151
総病床数(床)	150	100	—	173	194	150	175
救急告示病床数(床)	4	4	—	4	4	4	5
入院基本料(看護基準)	10:1	10:1	—	—	10:1	10:1	10:1
病床利用率(一般) (%) ①	68.8	78.6	72.5	80.5	75.8	72.3	93.3
病床利用率(全体) (%)	68.8	78.6	74.0	75.4	74.3	72.3	79.7
平均在院日数(一般病床)(日)	22.0	20.0	25.0	20.2	20.3	18.0	22.3
外来入院患者比率 (%) ②	250.3	330.3	157.3	198.6	151.4	333.8	110.5
患者1人1日当り入院収益(円)	26,453	28,961	28,329	32,135	28,635	36,269	31,501
患者1人1日当り外来収益(円) ④	6,167	6,309	8,701	9,144	11,286	5,125	11,020
病床1床当り診療収入(千円) ③	15,791	14,287	—	12,573	12,391	14,079	11,250
医師1人1日当り診療収入(円) ③	288,417	279,580	—	393,152	488,600	331,278	359,577
医師1人1日当り入院患者数(人)	6.9	5.6	8.8	8.4	10.7	6.2	8.2
医師1人1日当り外来患者数(人) ②	17.2	18.5	13.8	15.3	16.2	20.7	9.1
看護師1人1日当り診療収入(円) ③	44,064	50,105	—	56,628	48,967	67,824	53,093
看護師1人1日当り入院患者数(人)	1.1	1.0	1.4	1.2	1.1	1.3	1.2
看護師1人1日当り外来患者数(人) ②	2.6	3.3	2.1	2.4	1.6	4.2	1.3

■特徴

- ① 病床利用率は比較対象病院と同水準ではあるが、低い。
- ② 外来の患者比率が高く、職員(医師・看護師)一人当たりの患者数が多い。
- ③ 1床当たりの診療収入は平均を超えるが、職員(医師・看護師)一人当たりの診療収入は低い。
- ④ 外来単価が低い。

項目	広島病院		500床以上 黒字病院	7病院 平均	岩手県 中央病院	石川県 中央病院	兵庫県 尼崎病院	徳島県 中央病院	愛媛県 中央病院	大分県 県立病院	宮崎県 宮崎病院
	20年度	21年度 (見込み)									
人件費率(対医業収益) (%) ①	54.3	52.5	47.8	52.4	52.3	49.0	51.9	55.7	54.1	54.1	49.6
委託比率(対医業収益) (%)	8.4	8.3	8.3	6.5	4.7	4.7	6.7	8.2	5.6	6.4	9.2
人件費+委託費率(対医業収益) (%)	62.7	60.8	56.1	58.9	57.0	53.6	58.6	63.9	59.7	60.5	58.8
薬品費率(対医業収益) (%) ②	13.4	13.3	16.4	14.1	15.8	16.6	12.0	10.7	14.1	14.6	15.2
医療材料費率(対医業収益) (%)	27.6	26.5	30.5	29.3	30.5	31.4	30.7	25.1	29.7	26.8	30.7
材料費率(対医業収益) (%)	27.7	26.5	31.0	30.0	31.2	32.3	31.4	25.9	30.1	27.6	31.7
経費率(委託費を除く) (対医業収益) (%) ②	5.5	5.5	10.2	7.9	7.3	5.4	8.6	7.9	8.6	8.0	9.6
減価償却費率(対医業収益) (%)	11.1	9.6	6.2	4.1	2.8	3.2	2.6	3.6	2.2	6.7	7.5
経常収益対支払利息率 (%) ③	5.0	4.4	2.0	1.5	2.9	0.4	1.5	0.3	1.4	3.7	0.6
医業収益対医業利益率 (%)	△ 7.6	△ 3.1	△ 4.3	△ 1.6	1.1	5.0	△ 1.8	△ 2.1	△ 1.8	△ 3.5	△ 8.1
経常収益対経常利益率 (%)	△ 3.1	1.5	2.1	2.6	4.8	5.4	1.3	4.0	0.4	0.9	1.5
総収益対総利益率 (%)	△ 3.9	△ 0.6	3.6	2.6	4.8	5.4	1.2	4.0	0.4	0.8	1.5

■ 特徴

- ① 人件費率は20年度より下がったものの、平均より高い。
- ② 薬品などの材料費率や経費率は低く抑えられている。
- ③ 過去の建設投資等に伴う減価償却費、支払利息が高く、経営を圧迫している。

項目	安芸津病院		100床以上 200床未満 黒字病院	3病院 平均	岩手県 千厩病院	香川県 白鳥病院	鹿児島県 薩南病院	
	20年度	21年度 (見込み)						
収益性	人件費率(対医業収益) (%) ①	72.1	78.2	51.6	63.7	63.9	66.2	61.0
	委託比率(対医業収益) (%) ②	13.2	13.1	12.9	5.7	4.6	6.9	5.5
	人件費+委託費率(対医業収益) (%)	85.3	91.3	64.5	69.4	68.5	73.2	66.5
	薬品費率(対医業収益) (%) ③	8.1	7.8	10.0	10.2	10.7	7.8	12.1
	医療材料費率(対医業収益) (%)	18.8	18.8	17.8	22.3	26.5	20.9	19.4
	材料費率(対医業収益) (%)	18.8	18.8	18.5	23.0	27.6	20.9	20.5
	経費率(委託費を除く)(対医業収益) (%)	10.4	10.7	20.8	8.2	8.4	9.8	6.4
	減価償却費率(対医業収益) (%) ④	6.2	6.8	7.4	5.3	4.0	6.0	5.9
	経常収益対支払利息率 (%)	4.3	0.8	2.4	2.2	5.6	0.5	0.6
	医業収益対医業利益率 (%)	△ 21.3	△ 28.1	△ 11.9	△ 6.7	△ 9.1	△ 11.0	△ 0.2
	経常収益対経常利益率 (%)	△ 16.5	△ 16.3	2.8	△ 4.1	△ 8.2	△ 1.9	△ 2.1
	総収益対総利益率 (%)	△ 16.8	△ 16.4	1.2	△ 5.1	△ 8.2	△ 5.1	△ 2.1

■ 特徴

- ①21年度の人件費率は、退職手当支給の影響（例年事例のない事務職定年2名）もあり、20年度より更に高くなっている。
- ②委託費率も高い。
- ③薬品などの材料費率低く抑えられている。
- ④減価償却費率は、それほど高くなく、支払利息率は、むしろ低い。

項目	広島病院		500床以上 黒字病院	7病院 平均 (7団体平均)	岩手県 中央病院	石川県 中央病院	兵庫県 尼崎病院	徳島県 中央病院	愛媛県 中央病院	大分県 県立病院	宮崎県 宮崎病院		
	20年度	21年度 (見込み)											
繰入金	収益的収支の繰入額(千円)	2,397,358	2,766,716	2,187,234	1,335,961	2,117,956	418,723	1,002,009	1,202,021	1,969,245	1,110,927	1,530,843	
	資本的収支の繰入額(千円)	1,060,017	1,241,976	—	1,184,040	1,002,980	703,384	765,865	200,725	4,663,595	497,000	454,729	
	特別利益の繰入額(千円)	0	0	305,346	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	繰入金合計額(千円)	3,457,375	4,008,692	—	2,520,000	3,120,936	1,122,107	1,767,874	1,402,746	6,632,840	1,607,927	1,985,572	
金	人口(各年10月1日現在推計人口)	2,869,000	2,863,000	—	1,811,429	1,352,000	1,168,000	5,586,000	794,000	1,444,000	1,200,000	1,136,000	
	人口1人当たりの繰入金額(円)	1,205	1,400	—	1,862	2,308	961	316	1,767	4,593	1,340	1,748	
	人口1人1日当たりの繰入金額(円)	3.30	3.84	—	5.10	6.32	2.63	0.87	4.84	12.58	3.67	4.79	
	(参考) 団体繰入金総額・人口1人当たりの繰入金額(円)	1,667	1,539	—	5,673	15,384	1,629	2,895	3,442	9,738	1,552	5,071	
	(参考) 団体繰入金総額・人口1人1日当たりの繰入金額(円)	4.57	4.22	—	15.54	42.15	4.46	7.93	9.43	26.68	4.25	13.89	

※ 人口は政府統計の推計人口による。

項目	安芸津病院		100床以上 200床未満 黒字病院	3病院 平均 (3団体平均)	岩手県 千厩病院	香川県 白鳥病院	鹿児島県 薩南病院	
	20年度	21年度 (見込み)						
繰入金	収益的収支の繰入額(千円)	230,920	284,674	370,062	363,067	306,763	264,827	517,612
	資本的収支の繰入額(千円)	80,736	113,755	—	156,971	236,796	133,995	100,121
	特別利益の繰入額(千円)	0	0	1	0	0	0	0
	繰入金合計額(千円)	311,656	398,429	—	520,038	543,559	398,822	617,733
金	人口(各年10月1日現在推計人口)	2,869,000	2,863,000	—	1,357,333	1,352,000	1,003,000	1,717,000
	人口1人当たりの繰入金額(円)	109	139	—	386	402	398	360
	人口1人1日当たりの繰入金額(円)	0.30	0.38	—	1.06	1.10	1.09	0.99
	(参考) 団体繰入金総額・人口1人当たりの繰入金額(円)	1,667	1,539	—	7,317	15,384	4,119	2,449
	(参考) 団体繰入金総額・人口1人1日当たりの繰入金額(円)	4.57	4.22	—	20.05	42.15	11.28	6.71

■特徴

○病院数，病床数，担う政策医療によっても異なるが，県人口1人当たりで換算した繰入金は，他県と比較して低く，平成21年度の広島県病院事業全体での県人口1人当たり繰入額は1,539円。

地方公営企業法 第17条の2第1項, 第17条の3

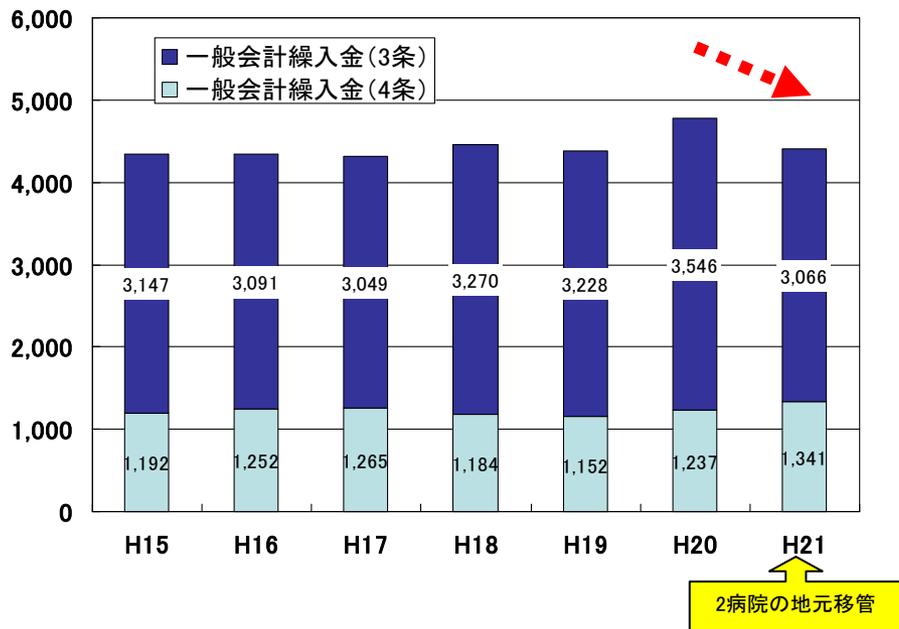
根拠	対象	繰入れルール	備考
○法第17条の2第1項1号 性質上, 地方公営企業の経営に伴う収入をもって充てることが適当でない経費 (同法施行令第8条の5, 繰出通達)	<ul style="list-style-type: none"> ・救急医療 ・集団検診, 医療相談等 ・各種行政委員等併任費用 ・移植推進・情報センター 	救急医療部門の収支差 医療相談職員人件費(1/2) 各種委員に係る人件費(時間相当) など	その他医業収益 ~3条 医業収益
○法第17条の2第1項2号 能率的経営を行ってもなおその経営に伴う収入のみをもって充てることが客観的に困難であると認められる経費 (同法施行令第8条の5, 附則第14項, 繰出通達)	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊医療に要する経費 【リハ, 周産期, 精神, 小児, 臨床腫瘍, 生殖医療 など】 ・高度医療に要する経費【放射線】 ・建設改良に伴う企業債利息 ・退職給与金の負担金 ・移管に伴う退職手当償元利償還経費 	各対象部門の収支差, 減価償却費の1/3~1/2 高度機器に係る収支差, 減価償却費の1/3 企業債利息償還額の1/2(H14以前分は2/3) 一般会計在職期間分相当額(按分) 2病院移管に伴う退職手当償元利償還金(10/10)	負担金交付金 ~3条 医業外収益
○法17条の3 経費分 災害の復旧その他特別の理由により必要がある場合には, 一般会計又はその他の特別会計から補助することができる経費 (繰出通達, 県独自)	<ul style="list-style-type: none"> ・共済組合追加費用 ・研究研修経費 ・基礎年金拠出金 ・医師確保, 人材育成 ・児童, 子ども手当 ・がん診療機能強化 ・緩和ケア支援室 など 	恩給制度に伴う負担額(10/10) 医療職等の研究研修費の1/2 職員本俸の21.6/1,000, 期末手当の16.8/1,000 研修医, 指導医人件費の一部 国庫補助, 県補助金など	一般会計補助金 ~3条 医業外収益
○法第17条の2第1項2号 病院及び診療所の建設又は改良に要する経費(当該経費に充てることができる病院事業の経営に伴う収入の額を超える部分に限る) (同法施行令附則第14項, 繰出通達)	<ul style="list-style-type: none"> ・病院建設改良に伴う企業債元金償還金 ・建設改良費, 医療機器整備(企業債対象外) 	企業債元金償還額の1/2(H14以前分は2/3) 建設改良に係る経費の1/2	一般会計出資金 ~4条 資本的収入

一般会計繰入金

2 繰入金の内訳

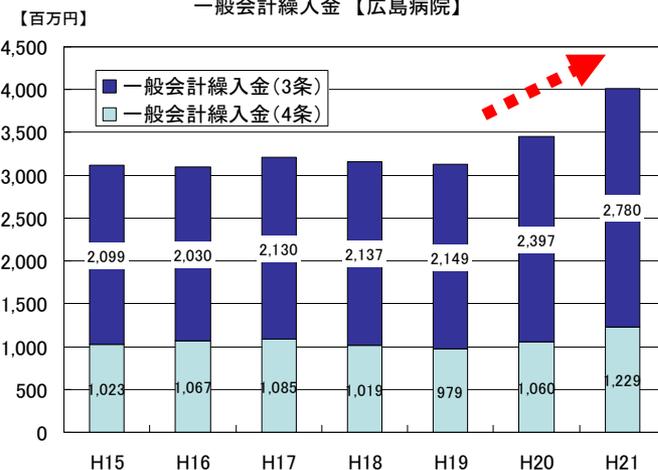
	主な項目	繰入額(H20)				繰入額(H21)			備考
		計	広島	安芸津	移管病院	計	広島	安芸津	
医業収益	救急医療	652,764	552,537	64,653	35,574	604,713	539,739	64,974	
	その他(各種行政委員, 医療相談)	47,425	47,425	0	0	50,830	50,830	0	
小計		700,189	599,962	64,653	35,574	655,543	590,569	64,974	
医業外収益	特殊医療	658,290	623,044	35,246	0	643,305	593,063	50,242	
	高度医療	157,471	15,471	0	0	138,790	138,790	0	
	企業債利息	627,206	548,487	52,066	26,653	535,505	527,789	7,716	移管分含む
	退職給与金	49,948	31,533	0	18,415	94,547	46,072	48,475	
	退職手当債	0	0	0	0	125,268	114,457	10,811	移管分含む
	不採算地区	744,690	0	0	744,690	0	0	0	
	共済追加費用	319,499	243,975	39,823	35,701	360,506	318,143	42,363	
	研究研修経費	44,027	36,845	4,130	3,052	44,602	39,409	5,193	
	基礎年金拠出金公費負担	152,983	116,537	19,387	17,059	205,860	181,341	24,519	
	医師確保・人材育成機能強化	0	0	0	0	145,455	139,845	5,610	
その他	91,584	181,504	15,615	36,465	102,009	77,238	24,771		
合計		2,845,698	1,797,396	166,267	882,035	2,395,847	2,176,147	219,700	
4条収益	企業債元金	1,204,596	1,030,106	80,189	94,301	1,326,463	1,216,990	109,473	移管分含む
	施設整備費 ほか	32,430	29,911	547	1,972	29,268	24,986	4,282	
小計		1,237,026	1,060,017	80,736	96,273	1,355,731	1,241,976	113,755	
合計		4,782,913	3,457,375	311,656	1,013,882	4,407,121	4,008,691	398,430	
移管病院分(再掲)		0	0	0	0	292,221	267,003	25,218	

広島県病院事業の繰入金



平成21年4月に2病院を地元移管したことで、不採算地区繰入などの減少により、病院事業の繰入総額は減少しているが、移管病院に係る企業債元利償還、退職手当債については、2病院で引き続き負担することになるため、各病院の繰入れ額は増加したように見える。

一般会計繰入金【広島病院】



一般会計繰入金【安芸津病院】



1 評価の考え方

広島県病院事業経営計画(以下「経営計画」という。)で定めた経営指標, 具体的取組の進捗状況を総合的に評価するものとする。

2 評価方法

経営計画で定めた目標, 取組内容についての自己評価に対して, 下記の評価基準に基づき, 県立病院として必要とされる取組などを踏まえて, 委員により評価していただく。なお, 評価は, 病院ごとにそれぞれ行う。

3 評価基準

別紙評価表の取組方針毎に, 下記の区分に従い評価する。

区分	点数	評価の考え方
計画どおり概ね順調である。	3点	計画の達成に向けた, 具体的成果がある。又は目標を達成した。
ほぼ順調である。	2点	計画に対して具体的に取組んでおり, 一定の成果が認められる。
やや遅れている。	1点	計画に対する取組はあるものの, まだ成果に現れていない。取組が不十分である。
かなり遅れている。	0点	計画に対して取組が行われているとは言えない。消極的である。

4 総合評価

3による評価の合計点によって, 総合的に評価する。

総合評価		評価点数比率	広島病院	安芸津病院
A	優良	80%以上	26.4点以上	21.6点以上
B	良好	60~80%	19.8~26.4	16.2~21.6
C	要努力	50~60%	16.5~19.8	13.5~16.2
D	要見直し	50%未満	16.5点未満	13.5点未満

総合評価が「D」とされた場合は, 経営計画を抜本的に見直す。また, 評価が「0点」とされた項目については, 経営計画の中間見直しを必ず行うものとする。

5 評価のスケジュール(案)

第1回 取組に対する意見

↳ 第2回 意見を踏まえた自己評価素案 ⇒ 意見・中間評価(委員採点)

↳ 第3回 意見, 委員採点を踏まえた評価取りまとめ案 ⇒ 委員会評価

1 決算、目標指標

番号	取組み方針	自己評価	委員評価	取組み項目	実績総括	委員意見
1	収支改善			○収支計画の着実な実行	・前年度より大幅に医業収益が増加し、計画初年度で経常黒字を達成した。	
2	目標指標の達成			○目標指標の達成	・目標指標10項目中8項目を達成した。後期研修医確保が課題である。	
評価点小計						

2 具体的取組

番号	取組み方針	自己評価	委員評価	取組み項目	実績総括	委員意見
1	救急機能の強化			○救急患者受入体制の強化 ○循環器系疾患の救急対応	・救急外来の体制を強化し、救急患者を積極的に受入れた。 ・今後増加が見込まれる循環器系疾患に対応できる体制づくりに取組んだ。	
2	周産期医療体制の強化			○成育医療センター本格稼働 ○病診連携による安全な分娩体制	・センター化により関係診療科が密接に連携するとともに、ハイリスク患者に数多く対応した。セミオーオープンシステムによる分娩は、軌道に乗り始めている。	
3	がん機能の強化			○特色を生かした機能充実	・がんの専門治療やチーム医療、専門外来等に積極的に取組んだ。 ・がん拠点病院として、がん登録やがん相談にも取組み、実績が上がっている。	
4	安芸津病院の機能検討	/	/		-	
5	医療の質の向上			○電子カルテ、クリニカルパスの活用 ○相談機能・地域連携の強化 ○医療安全の確保	・電子カルテ、DPC解析ソフトによって、積極的なデータ活用を行った。 ・医療相談に積極的に対応し、紹介・逆紹介による地域との連携を推進した。 ・医療安全の重要性を職員が共有する取組を進めた。	
6	人材の確保・育成、派遣			○医師の確保、勤務環境の改善 ○医療人材の育成 ○派遣機能の強化	・医師の処遇改善、負担軽減となる取組を進めた。 ・看護師の資格取得など、積極的養成を行った。 ・一定の派遣実績はあるが、後期研修医の一層の確保が必要。	
7	患者サービスの向上			○利便性の向上、療養環境改善、広報充実 ○患者ニーズの把握	・患者の視点に立った環境改善を行い、巡回講演などの新たな取組も進めている。 ・患者の意見に真摯に対応し、業務改善に取組み、その内容は公表している。	
8	経営の効率化	増収対策		○医業収益の増加 ○患者数の増加	・他病院との比較を行い、病院全体で、診療や運用の見直しに取組んだ。 ・平均在院日数は短縮し、指導料も適切に算定実績をあげている。	
9		費用合理化対策		○材料購入の見直し ○経費の見直し	・コンサルタントを通じたベンチマーク分析により市場を把握することで交渉力を強化し、成果をあげている。	
10		経営機能の強化		○経営機能の強化 ○職員の経営参画意識の醸成	・経営戦略会議の設置により、病院間の情報共有・意思決定の迅速化がすすんだ。 ・全部適用、現状把握、目標共有を契機に、経営に対する職員意識が高まった。	
評価点小計						

合計		
----	--	--

総合評価	
------	--

1 決算、目標指標

番号	取組み方針	自己評価	委員評価	取組み項目	実績総括	委員意見
1	収支改善			○収支計画の着実な実行	・前年度より医業収支は悪化し、計画は達成できていない。	
2	目標指標の達成			○目標指標の達成	・目標指標2項目とも、達成できていない。病床利用率の向上が必要である。	
評価点小計						

2 具体的取組

番号	取組み方針	自己評価	委員評価	取組み項目	実績総括	委員意見
1	救急機能の強化	/	/	/	-	
2	周産期医療体制の強化	/	/	/	-	
3	がん機能の強化	/	/	/	-	
4	安芸津病院の機能検討			○新たな役割・方向性の検討	・急性期医療に加え、亜急性期医療、プライマリケア、在宅医療を充実させる。 ・地域や市町との連携を一層強化する。 ・適切に人員体制を見直す。	
5	医療の質の向上			○クリニカルパスの活用 ○相談機能の強化 ○医療安全の確保	・クリニカルパスの改善、新規作成に取組んだ。統計によるパス分析を今後取組む。 ・病診連携の強化に向けて、体制の強化や訪問活動などを実施した。 ・医療安全の委員会や講習会を実施し、職員への周知に取組んだ。	
6	人材の確保・育成、派遣			○医師の確保、勤務環境の改善 ○医療人材の育成	・大学へ医師の欠員医師の確保や診療科充実のための働きかけをしたが、2名減となった。	
7	患者サービスの向上			○利便性の向上、療養環境改善、広報充実 ○患者ニーズの把握	・医療講演会を実施し、地域に積極的に働きかけた。 ・患者アンケートを外来患者にも実施した。	
8	経営の効率化	増収対策		○医業収益の増加 ○患者数の増加	・新たな役割としての亜急性期医療、改定時の新設加算の取得に取組んだ。 ・連携先や関連施設への訪問活動を行った。	
9		費用合理化対策		○材料購入の見直し ○経費の見直し	・医薬品の共通化と共同購入に向けて検討を重ねた。 ・契約方法の見直しなど、経費節減につながる取組を進めた。	
10		経営機能の強化		○経営機能の強化 ○職員の経営参画意識の醸成	・経営戦略会議の設置により、病院間の情報共有・意思決定の迅速化がすすんだ。 ・院内統計資料を充実させ、経営情報をタイムリーに院内に周知した。	
評価点小計						

合計			総合評価	
----	--	--	------	--

取組方針	取組項目	取組内容	今後の取組	課題・特記事項
救急機能の強化 ○自己評価 【点】	救急患者受入体制の強化	<p>○救急外来の体制強化 ～トリアージナースの試行配置(H21.11月, 17:15～24:00 2名) ⇒救命救急外来部門の立上げH22.5～ トリアージナースを24時間体制に。常時2～3名</p> <p>○3次救急, 当直体制の充実 ～救命科医師の確保(H20:4名→H21:5名 ⇒H22:6名) 救急隊からのホットライン受入496件(前年度比+11%), 他に救急隊からの相談93件など。 ～時間外電話取次対応の変更(トリアージナース取次に変更) ～リーダー当直医の導入 ■救急患者受入状況の推移</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="272 615 716 853"> <p>【人】 救命救急センター延患者数(H20.4～22.3)</p> </div> <div data-bbox="726 615 1170 853"> <p>【人】 緊急入院初診患者数(H20.4～22.3)</p> </div> <div data-bbox="272 868 716 1106"> <p>【件】 救急車受入れ件数(H20.4～22.3)</p> </div> <div data-bbox="726 868 1170 1106"> <p>【人】 新規入院患者数【救命センター】(H20.4～22.3)</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・救急車受入目標: 4,000件/年 ・救急総合医の育成 ・救命救急医(後期研修医ローテートコース)の確保 ・2交代制の検討 ・トリアージマニュアルの整備 	
	循環器系疾患の救急対応	<p>○脳・心臓救急センターの設置準備 ～高齢化に伴う患者の増加, 早期対応の必要性, 医療の高度専門化への対応 ～脳・心臓系の専門医が常時, 直接対応できる当直体制を試行(H21.11～導入) ～脳・心臓系医師の確保 H21:8名⇒H22.4:9名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・脳神経外科・神経内科の医師確保 ・循環器科の医師確保 ・患者増加状況を踏まえ機器整備 	

取組方針	取組項目	取組内容	今後の取組	課題・特記事項																																																
周産期医療体制の強化 ○自己評価 点	成育医療センター本格稼働	<p>○H21.3成育医療センターの整備完了 妊娠, 出産, 新生児, 小児, 思春期, 成人に至るライフステージで継続した医療を提供。</p> <p>○婦人科 ~手術室手術(H20:303件 ⇒H21:348件(+45件)) (うち悪性腫瘍手術101件:子宮頸がん54件, 子宮体がん22件, 卵巣がん25件)</p> <p>○産科 ~分娩件数 (H20:687件 ⇒H21:822件(+135件)) うち切開(H20:224件 ⇒H21:273件(+49件)) 緊急母体搬送数(H20:111件 ⇒H21:124件(+13件)) ハイリスク分娩管理加算件数(H21:572件) ハイリスク妊娠管理加算件数(H21:502件)</p> <p>○新生児科 ~NICU延患者数(H20:7,310人 ⇒H21:8,422人(+1,112人)) 27床利用率85.5% 総入院数398人 (うちバス入院以外238人) 新生児搬送35人(15%)</p> <table border="1" data-bbox="622 625 1286 839"> <thead> <tr> <th>出生時体重</th> <th>入院(人)</th> <th>死亡(人)</th> <th>在胎週数</th> <th>入院(人)</th> <th>死亡(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>~ 499g</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>22~24</td> <td>10</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>500~ 749g</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>25~26</td> <td>7</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>750~ 999g</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>27~30</td> <td>24</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1,000~1,499g</td> <td>25</td> <td>0</td> <td>31~34</td> <td>61</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1,500~2,449g</td> <td>115</td> <td>2</td> <td>35~36</td> <td>43</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2,500g~</td> <td>75</td> <td>2</td> <td>37~</td> <td>93</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>238</td> <td>4</td> <td>総計</td> <td>238</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>○小児科 ~病棟型こども病院として, 小児の自己免疫疾患・リウマチ性疾患などにも対応。</p> <p>○小児腎臓科 ~中四国唯一の小児腎臓科。小児領域の急性血液浄化療法に精通。(H21:5例)</p> <p>○小児外科 ~手術件数(H20:260件 ⇒H21:254件(▲6件)) 小児外科学会認定施設(県内3施設)</p> <p>○小児感覚器科~外来延患者数(H20:4,112人 ⇒H21:4,712人(+600人))</p> <p>○生殖医療科 ~採卵 (H20:186件 ⇒H21:237件(+51件)) 胚移植(H20:150件 ⇒H21:154件(+4件)) 人工授精(H20:271件 ⇒H21:395件(+124件)) 生殖医療に関するセミナー(体外受精適応患者は必須)の開催 (H21:6回, 延298名(+56名))</p>	出生時体重	入院(人)	死亡(人)	在胎週数	入院(人)	死亡(人)	~ 499g	3	0	22~24	10	0	500~ 749g	12	0	25~26	7	0	750~ 999g	8	0	27~30	24	1	1,000~1,499g	25	0	31~34	61	1	1,500~2,449g	115	2	35~36	43	0	2,500g~	75	2	37~	93	2	総計	238	4	総計	238	4	日本小児総合医療施設協議会 総会(H23)の開催	
	出生時体重	入院(人)	死亡(人)	在胎週数	入院(人)	死亡(人)																																														
~ 499g	3	0	22~24	10	0																																															
500~ 749g	12	0	25~26	7	0																																															
750~ 999g	8	0	27~30	24	1																																															
1,000~1,499g	25	0	31~34	61	1																																															
1,500~2,449g	115	2	35~36	43	0																																															
2,500g~	75	2	37~	93	2																																															
総計	238	4	総計	238	4																																															
病診連携による安全な分娩体制	○セミオープンシステムによる分娩件数(H22.5 17件(全分娩63件中27%))																																																			

取組方針	取組項目	取組内容	今後の取組	課題・特記事項																																				
<p>がん医療強化</p> <p>○自己評価</p> <p>【点】</p>	<p>特色を生かした機能充実</p>	<p>○臨床腫瘍科～がん化学療法専用チェア18床(うちベッド6床)。入院も対応。 入院延患者数 (H20:4,557人 ⇒H21:5,601人(+1,044人)) 化学療法実施件数(H20:3,953件 ⇒H21:3,960件(+6件)) がんサロンの実施</p> <p>○緩和ケア ～緩和ケア支援室...県内の緩和ケアに対する情報提供, 総合相談, 専門研修, アドバイザーの派遣などの支援を積極的に実施。 緩和ケア科...医師, 看護師等に対する専門研修, 医学生の実習等を積極的に実施。 緩和ケアチーム...体制を確立し, 緩和ケア診療加算の算定開始(H22.1～)</p> <p>○専門外来 ～乳腺精密検査外来の設置 ⇒患者増加により拡充(H21.6開設 週1回) ⇒(H22.4拡充 週3回, うち2回は医師・技師ともに女性で実施)</p> <p>○がん相談 ～相談員基礎研修受講済(I, II)3名, (Ⅲ)1名 がん相談件数(H20:921件 ⇒H21:1,032件(+111件))</p> <p>○がん登録 ～がん登録実務者中級研修1名受講, がん登録実務指導者1名受講 県地域がん登録件数(H20:1,020件 ⇒H21:1,721件(+701件))</p> <p>○がん診療連携拠点病院 ～H21更新(県内11拠点病院, 広島二次医療圏に5病院)</p> <p>○放射線治療 ～ リニアック ～(H20:8,401件⇒ H21:7,805件(▲596件)) ラルス(子宮, 胆道など)～(H20: 30件⇒ H21: 43件(+ 13件)) 密封小線源(前立腺がん)～(H20: 22件⇒ H21: 29件(+ 7件))</p> <div data-bbox="529 972 1122 1258"> <p>【人】 リニアック治療件数(H20.4～22.3)</p> <table border="1"> <caption>リニアック治療件数 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>4月</th> <th>7月</th> <th>10月</th> <th>1月</th> <th>4月</th> <th>7月</th> <th>10月</th> <th>1月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020</td> <td>450</td> <td>700</td> <td>700</td> <td>650</td> <td>1000</td> <td>700</td> <td>700</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>2021</td> <td>500</td> <td>700</td> <td>700</td> <td>650</td> <td>1100</td> <td>700</td> <td>700</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>2022</td> <td>500</td> <td>700</td> <td>700</td> <td>650</td> <td>1000</td> <td>700</td> <td>700</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table> </div>	年	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	2020	450	700	700	650	1000	700	700	500	2021	500	700	700	650	1100	700	700	500	2022	500	700	700	650	1000	700	700	500		
年	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月																																
2020	450	700	700	650	1000	700	700	500																																
2021	500	700	700	650	1100	700	700	500																																
2022	500	700	700	650	1000	700	700	500																																

取組方針	取組項目	取組内容	今後の取組	課題・特記事項
医療の質の向上 ○自己評価	電子カルテ、クリニカルパスの活用	<p>ODPC解析ソフトの導入～全国のDPC病院とのベンチマーク分析の実施(H21.11～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院期間中の投入医療資源、検査、放射線、指導など、他病院とベンチマーク比較 ・パス検討委員会によるDPC解析データの活用検討 ・パス運用件数 428件(H21.7末) パス適用率 39.4% ・診療情報管理部の強化(臨床評価指標部会の設置H22)～院内の診療情報を収集・分析 <p>○H21電子カルテ導入に伴う情報開示方法の整理</p>	公表する指標を選定	
【点】	相談機能・地域連携の強化	<p>○病院機能評価(ver.5.0)の認定(H21.4)～H16年度のバージョンアップ更新 日本経済新聞報道【H22.1.10】～受審成績全国70位以内(34位)に県立広島病院がランクイン。(広島県唯一)</p> <p>○相談機能の充実 医療相談件数(H20:3,254件 ⇒H21:5,489件(+1,965件)) 医療ソーシャルワーカーの配置(+1名) メディエーターの配置を検討</p> <p>○連携先医療機関への訪問 ～ 36医療機関</p> <p>○紹介率・逆紹介率の向上～いずれも目標の65%を達成。 紹介率 ...H20:65.4%⇒H21:67.5%(+2.1%) 逆紹介率...H20:65.3%⇒H21:70.7%(+5.4%)</p> <p>○初診外来紹介患者数 ～紹介患者数は微減 H20:11,533人 ⇒ H21:11,327人(▲206人)</p> <p>○病診連携カンファレンス 院外医師を招いた合同カンファレンスを毎年実施 ・H21実績 3回(小児・整形～院外医師8名, 院内医師16名, 院内その他28名) (婦人・耳鼻～院外医師4名, 院内医師9名, 院内その他24名) (精神・内視～院外医師9名, 院内医師23名, 院内その他27名)</p>	<p><広島> 逆紹介率目標(H22:75%) 逆紹介から連携を強め、紹介による高度医療や入院医療の必要な患者の増加を図る。</p>	<p>○病院機能評価 公的な第三者評価機関である財団法人日本医療機能評価機構の認定。全国8,766病院のうち認定病院は2,576病院(2009年12月4日現在)で約3割。新聞報道の対象は、調査結果の公開に同意した病院で、厚生労働省が疾患ごとの症例数(診療実績)も公開している1,159病院。</p>

取組方針	取組項目	取組内容	今後の取組	課題・特記事項
医療の質の向上	医療安全の確保	<p>○【医療安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院安全管理推進員～院内暴力への対応・未然防止を目的に警察OBを配置(H21.9) ・医療安全管理者を選任～各病棟、診療科に医療安全管理者を置き、安全管理を徹底。 ・医療安全対策委員会(H21:12回、), セーフティマネジメント部会(H21:13回) ・医療安全に係る教育、研修(H21:23回、延1,485人参加) ・インシデント報告(H20:2,371件 ⇒H21:2,619件(+248件)) ・アクシデント報告(H20:10件 ⇒H21:6件(▲4件)) ・医療安全対策マニュアルの改訂、周知(H22.3) <p>○【基幹災害】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹災害医療センター運営委員会関連活動 広島県ドクターヘリの事業搭乗訓練(1回)、DMAT(6回)、緊急被ばく医療機関会議(3回)、市消防局 国際救助隊合同訓練(4回)など(H21訓練・研修等:計20回) <p>○【感染症】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型インフルエンザへの対応 <ul style="list-style-type: none"> ・発熱外来患者数 延べ1,733人(H21.7～22.1) ・インフルエンザ対応マニュアル作成(H21.9) ・新型インフルエンザ院内総括班会議 計23回 ・感染症対策委員会(H21:11回)、 ・感染症対策に係る教育、研修(H21:18回、延1,549人参加) 		

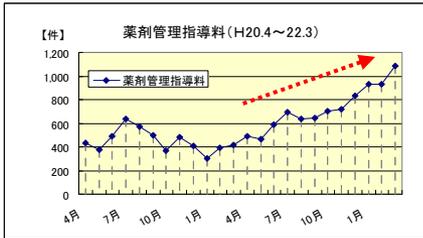
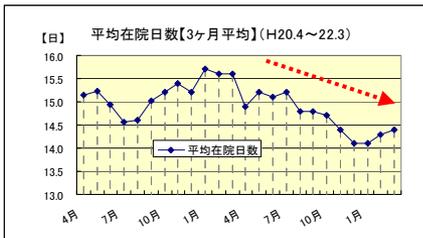
取組方針	取組項目	取組内容	今後の取組	課題・特記事項												
<p>人材の確保・育成・派遣</p> <p>○自己評価</p> <p>【点】</p>	<p>・医師確保 ・勤務環境の改善</p>	<p>○医師確保手段 県立広島病院ホームページへの掲載 全自病協ホームページへの掲載 医師就職情報誌2誌への掲載 (H22.4)</p> <p>○初期臨床研修医～診療科目の選択自由度を向上したプログラムの充実 定員10人 ⇒ 決定10人(←応募38人) ~ マッチング率100%</p> <p>○後期臨床研修医～単独診療科単位での後期研修に加え、複数ローテイトのプログラムを10コース新たに作成し、全国に公募</p> <table border="1" data-bbox="614 575 1089 735"> <thead> <tr> <th colspan="2">コース名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① オーダーメイド</td> <td>⑥ 総合医養成</td> </tr> <tr> <td>② がん診療</td> <td>⑦ 脳・心臓血管救急診療</td> </tr> <tr> <td>③ 成育医療</td> <td>⑧ 消化器総合</td> </tr> <tr> <td>④ 総合的救急</td> <td>⑨ 外科専門医修練</td> </tr> <tr> <td>⑤ 麻酔・全身管理</td> <td>⑩ 感染症診療</td> </tr> </tbody> </table> <p>定員10人 ⇒ 決定2名 (H22) { オーダーメイドコース 総合医養成コース }</p> <p>○医師の処遇改善 後期臨床研修医を常勤化(任期付)H21.4～</p> <p>○海外長期研修制度等の創設～病院の魅力向上と継続的な人材確保 (H22.3) 海外への公務出張制度(海外長期研修制度)【全額公費, 3ヶ月以内】 自己研鑽目的の海外への学会参加等(海外自己研修助成制度)【1/2助成, 上限30万円】</p> <p>○医療従事者用待機宿舍の整備～工期: H20～21 H22.4～入居開始, 居室数: 65室(2LDK5室, ワンルーム60室), 入居対象: 初期・後期研修医 県立広島病院からの距離 徒歩5分</p> <p>○育児短時間勤務制度(県制度)の活用 ～H22.6 1名適用 勤務時間9時～13時55分(5H) ⇒ H22.6.18新聞記事</p> <p>○医療クラークの配置～7名: 100対1 (H20.10) ⇒ 14名: 50対1 (H22.2) 外来業務の円滑化, 患者待ち時間の短縮, カルテ記載漏れの減少などの効果。</p> <p>○看護補助の配置検討～H22診療報酬改定で新設の「急性期看護補助体制加算」の取得検討 ～看護師の業務改善と専門性の発揮</p>	コース名		① オーダーメイド	⑥ 総合医養成	② がん診療	⑦ 脳・心臓血管救急診療	③ 成育医療	⑧ 消化器総合	④ 総合的救急	⑨ 外科専門医修練	⑤ 麻酔・全身管理	⑩ 感染症診療	<p>研修病院セミナーへ参加予定 (H22.6～7)</p> <p>(研修医) H23以降の研修医募集枠増加 広島地域医療協議会(仮称)と連携し、後期研修医を確保</p> <p>研修中の代診医の確保</p> <p>医療クラークの習熟度検収体制を踏まえ、必要な増員を行う。</p>	
コース名																
① オーダーメイド	⑥ 総合医養成															
② がん診療	⑦ 脳・心臓血管救急診療															
③ 成育医療	⑧ 消化器総合															
④ 総合的救急	⑨ 外科専門医修練															
⑤ 麻酔・全身管理	⑩ 感染症診療															

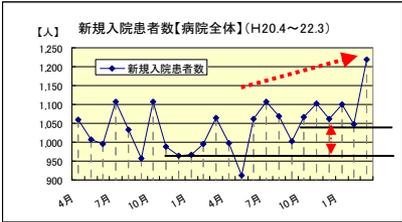
取組方針	取組項目	取組内容	今後の取組	課題・特記事項
人材の確保・育成・派遣	医療人材の育成	<p>看護職員の養成計画 認定看護師の養成～H21:5名受講(計14名) 薬剤師の養成計画 認定薬剤師の養成～H21:受講なし(計1名) 技師の養成計画 治療専門放射線技師の養成～H21受講なし 認定検査技師の養成～H21:4名受講(計17名)</p> <p>○海外長期研修制度等の創設(再掲)～病院の魅力向上と継続的な人材確保(H22.3) 海外への公務出張制度(海外長期研修制度)【全額公費, 3ヶ月以内】 自己研鑽目的の海外への学会参加等(海外自己研修助成制度)【1/2助成, 上限30万円】</p>	<p>認定看護師の養成 ～H22:6名予定 認定薬剤師の養成 ～H22:1名予定 治療専門放射線技師の養成 ～H22:2名予定 認定検査技師の養成 ～H22:2名予定</p>	
	派遣機能の強化	<p>○人材派遣21年度実績 ～医師派遣 : 安芸津病院(小児科1名(医員を派遣し3ヶ月毎に交代) 神石高原町立病院(呼吸器内科, 整形外科 それぞれ月2回) 尾道総合病院(小児外科医師の手術指導) ～代診医派遣 : 尾道市民病院附属瀬戸田診療所(32回) 安芸太田病院(30回) 大和診療所(9回)</p>	支援拡充	

取組方針	取組項目	取組内容	今後の取組	課題・特記事項																																										
<p>患者サービスの向上</p> <p>○自己評価(点)</p>	<p>・利便性の向上</p> <p>・環境改善</p> <p>・広報充実</p>	<p>○クレジット払いを導入(H21.12 広島)</p> <p>・利用患者数, 利用額ともに, 上昇。</p> <p>・徴収事務の効率化, 未払金の抑制に一定の効果。 《H21.9~11》《H22.1~3》</p> <p>・院内収納率が上昇 77.7% ⇒ 84.8%</p> <p>・振込・分納率が低下 22.2% ⇒ 15.2%</p> <p>カード利用推移(H21.12~H22.3)</p> <table border="1" data-bbox="794 325 1286 476"> <thead> <tr> <th>21年度 利用率</th> <th>12 月</th> <th>1 月</th> <th>2 月</th> <th>3 月</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>金額ベース</td> <td>11%</td> <td>12%</td> <td>17%</td> <td>22%</td> <td>17%</td> </tr> <tr> <td>患者ベース</td> <td>4%</td> <td>4%</td> <td>5%</td> <td>7%</td> <td>5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○個室化の推進(H21:2人室を個室化~6室:個室トイレ・シャワー等の設置)</p> <p>差額ベッド料金(改修後)</p> <table border="1" data-bbox="320 562 753 672"> <thead> <tr> <th colspan="3">広島病院</th> </tr> <tr> <th>使用料</th> <th>区分</th> <th>室数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,490~12,590円</td> <td>個室</td> <td>76室</td> </tr> <tr> <td>970円</td> <td>2人室</td> <td>50室 (100床)</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="774 562 1153 672"> <thead> <tr> <th colspan="3">安芸津病院</th> </tr> <tr> <th>使用料</th> <th>区分</th> <th>室数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,070~6,330円</td> <td>個室</td> <td>17室</td> </tr> <tr> <td>600円</td> <td>2人室</td> <td>4室 (8床)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○院内コンビニエンスストア開設~(H21.12)</p> <p>○地域巡回講演会~町民会館, 集会所など, 地域の要望に応じて随時実施(H22.3~)</p> <p>・第1回 3/27 女性のためのがん講座~講師:医師(参加:34名)</p> <p>・第2回 5/27 くすりの正しい飲み方 ~講師:薬剤師(参加:89名)</p> <p>・第3回 6/5 脳卒中の初期対応とリハビリ~講師:医師, 作業療法士(参加:48名)</p> <p>○院外活動(地域貢献等)実績の公表に向けた検討(H22)~安芸津病院と協働</p> <p>対象~研究発表, 講演, 診療・救護応援, 教育活動, 公的委員活動, 公的位置づけによる活動</p> <p>活用~県立病院の対外的活動・貢献を広く地域に発信</p>	21年度 利用率	12 月	1 月	2 月	3 月	平均	金額ベース	11%	12%	17%	22%	17%	患者ベース	4%	4%	5%	7%	5%	広島病院			使用料	区分	室数	3,490~12,590円	個室	76室	970円	2人室	50室 (100床)	安芸津病院			使用料	区分	室数	2,070~6,330円	個室	17室	600円	2人室	4室 (8床)	<p>個室の引出し式トイレ改修(H22:10室)</p> <p>地域巡回講演会を積極広報</p> <p>H22年度から取りまとめを開始</p>	
21年度 利用率	12 月	1 月	2 月	3 月	平均																																									
金額ベース	11%	12%	17%	22%	17%																																									
患者ベース	4%	4%	5%	7%	5%																																									
広島病院																																														
使用料	区分	室数																																												
3,490~12,590円	個室	76室																																												
970円	2人室	50室 (100床)																																												
安芸津病院																																														
使用料	区分	室数																																												
2,070~6,330円	個室	17室																																												
600円	2人室	4室 (8床)																																												
	<p>患者ニーズの把握</p>	<p>○患者アンケート</p> <p>1ヶ月間の退院患者全員, 対象日の外来患者を対象に, H14から毎年実施。</p> <p>活用...患者様からの評価・ご意見を参考に, サービスの向上に生かす。</p> <p>評価...環境や職員の対応に対して, 多くの項目で85点以上の評価を得たが, 駐車場, 待ち時間などの項目については, 70点台と厳しい評価を受けた。 (各設問5段階評価を0点~100点に換算した平均)</p> <p>○患者意見箱</p> <p>各病棟やロビーに常設し, 対応済みのものは, 掲示と閲覧ファイルを設置し誰でも閲覧可能としている。(投稿者のプライバシーには配慮)</p> <p>周知...院内会議で, ご意見と対応について周知, 活用...接遇等の向上や委託業者への指導</p>																																												

取組方針	取組項目	取組内容	今後の取組	課題・特記事項																																																																								
<p>経営の効率化</p> <p>増収対策</p> <p>○自己評価【点】</p>	<p>医療収益の増加</p>	<p>○各種加算の取得 体制整備や基準具備したものから随時取得 ～広島:重症者等療養環境特別加算(H21.10) ～広島:緩和ケア診療加算(H22.1)体制確立...広島県で3病院 ～広島:医師事務作業補助加算50対1(H22.2)【ランクUP】 ～広島:地域連携診療計画管理料(H22.2) ～広島:医療機器安全管理料2(H22.3)【経験年数具備】</p> <p>○診療報酬改定対応の取組～H22.1以降最新情報の随時入手, セミナーへの参加, 情報共有 ～全改定項目について算定可能性の洗い出し, 収支試算 ～部門毎に医事課による診療報酬改定説明会を実施(H22.2～3)</p> <p>○平成22年4月新規届出項目</p> <table border="1" data-bbox="446 654 1155 996"> <thead> <tr> <th colspan="3">○広島病院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初診(夜間・早期等)加算</td> <td>がん治療連携計画策定料</td> <td>腹腔鏡下肝切除術</td> </tr> <tr> <td>障害歯科医療連携加算</td> <td>肝炎ウイルス治療計画料</td> <td>医科点数表適用に掲げる手術</td> </tr> <tr> <td>精神科入院基本料(13対1)</td> <td>医薬品安全性情報等管理体制加算</td> <td>歯周組織再生誘導手術</td> </tr> <tr> <td>総合入院体制加算</td> <td>歯科治療総合医療管理料</td> <td>高齢者管理(Ⅰ,Ⅱ)</td> </tr> <tr> <td>救急医療管理加算</td> <td>HPV検査判定検査</td> <td>画像誘導放射線治療</td> </tr> <tr> <td>医師事務作業補助体制加算</td> <td>埋込型心電図検査</td> <td>クラウン・ブリッジ維持管理料</td> </tr> <tr> <td>重症皮膚潰瘍管理下さん</td> <td>センチネルリンパ節生検</td> <td>酸素</td> </tr> <tr> <td>摂食障害入院医療管理加算</td> <td>抗悪性腫瘍剤処理管理加算</td> <td></td> </tr> <tr> <td>栄養サポートチーム加算</td> <td>運動器リハビリテーション料1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>感染防止対策加算</td> <td>集団コミュニケーション療法料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハイリスク分娩管理加算</td> <td>歯科技工加算</td> <td>○安芸津病院</td> </tr> <tr> <td>急性期病棟等退院調整加算</td> <td>悪性黒色腫センチネルリンパ節加算</td> <td>救急医療管理加算</td> </tr> <tr> <td>新生児特定集中治療室退院調整加算</td> <td>乳がんセンチネルリンパ節加算</td> <td>ニコチン指導料管理料</td> </tr> <tr> <td>ハイケアユニット入院医療管理料</td> <td>経皮的冠動脈形成術</td> <td>肝炎ウイルス治療計画料</td> </tr> <tr> <td>がん性疼痛緩和指導管理料</td> <td>経皮的大動脈狭窄術</td> <td>医薬品安全性情報等管理体制加算</td> </tr> <tr> <td>がん患者カウンセリング料</td> <td>ダメージコントロール手術</td> <td>CT撮影及びAMR撮影</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>酸素</td> </tr> </tbody> </table> <p>ODPC分析とコンサルの活用 DPC解析ソフト ・DPC分析システムの導入～自院と全国他病院とのベンチマーク分析が可能な環境を整備 コンサルティング会社の積極活用 ①毎月2診療科を対象に, DPC検討会を実施。【広島】 疾病毎の在院日数, 投入材料, 指導の算定状況, 検査・放射線の実施状況等を他病院と比較して検討 (参加は, 診療科医師, 病棟看護師, 薬剤科, 手術室, 放射線, 院長等管理職など 毎回30名程度が参加)</p>	○広島病院			初診(夜間・早期等)加算	がん治療連携計画策定料	腹腔鏡下肝切除術	障害歯科医療連携加算	肝炎ウイルス治療計画料	医科点数表適用に掲げる手術	精神科入院基本料(13対1)	医薬品安全性情報等管理体制加算	歯周組織再生誘導手術	総合入院体制加算	歯科治療総合医療管理料	高齢者管理(Ⅰ,Ⅱ)	救急医療管理加算	HPV検査判定検査	画像誘導放射線治療	医師事務作業補助体制加算	埋込型心電図検査	クラウン・ブリッジ維持管理料	重症皮膚潰瘍管理下さん	センチネルリンパ節生検	酸素	摂食障害入院医療管理加算	抗悪性腫瘍剤処理管理加算		栄養サポートチーム加算	運動器リハビリテーション料1		感染防止対策加算	集団コミュニケーション療法料		ハイリスク分娩管理加算	歯科技工加算	○安芸津病院	急性期病棟等退院調整加算	悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	救急医療管理加算	新生児特定集中治療室退院調整加算	乳がんセンチネルリンパ節加算	ニコチン指導料管理料	ハイケアユニット入院医療管理料	経皮的冠動脈形成術	肝炎ウイルス治療計画料	がん性疼痛緩和指導管理料	経皮的大動脈狭窄術	医薬品安全性情報等管理体制加算	がん患者カウンセリング料	ダメージコントロール手術	CT撮影及びAMR撮影			酸素	<p>○検討中の項目</p> <table border="1" data-bbox="1238 654 1537 915"> <thead> <tr> <th colspan="2">○広島病院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>急性期看護補助体制加算</td> <td></td> </tr> <tr> <td>医師事務作業補助体制加算(25対1)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>精神科入院基本料(10対1)</td> <td>ほか</td> </tr> </tbody> <thead> <tr> <th colspan="2">○安芸津病院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>急性期看護補助体制加算</td> <td></td> </tr> <tr> <td>医師事務作業補助体制加算(50対1)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>がん治療連携指導料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域連携診療計画管理料 等</td> <td>ほか</td> </tr> </tbody> </table>	○広島病院		急性期看護補助体制加算		医師事務作業補助体制加算(25対1)		精神科入院基本料(10対1)	ほか	○安芸津病院		急性期看護補助体制加算		医師事務作業補助体制加算(50対1)		がん治療連携指導料		地域連携診療計画管理料 等	ほか	
○広島病院																																																																												
初診(夜間・早期等)加算	がん治療連携計画策定料	腹腔鏡下肝切除術																																																																										
障害歯科医療連携加算	肝炎ウイルス治療計画料	医科点数表適用に掲げる手術																																																																										
精神科入院基本料(13対1)	医薬品安全性情報等管理体制加算	歯周組織再生誘導手術																																																																										
総合入院体制加算	歯科治療総合医療管理料	高齢者管理(Ⅰ,Ⅱ)																																																																										
救急医療管理加算	HPV検査判定検査	画像誘導放射線治療																																																																										
医師事務作業補助体制加算	埋込型心電図検査	クラウン・ブリッジ維持管理料																																																																										
重症皮膚潰瘍管理下さん	センチネルリンパ節生検	酸素																																																																										
摂食障害入院医療管理加算	抗悪性腫瘍剤処理管理加算																																																																											
栄養サポートチーム加算	運動器リハビリテーション料1																																																																											
感染防止対策加算	集団コミュニケーション療法料																																																																											
ハイリスク分娩管理加算	歯科技工加算	○安芸津病院																																																																										
急性期病棟等退院調整加算	悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	救急医療管理加算																																																																										
新生児特定集中治療室退院調整加算	乳がんセンチネルリンパ節加算	ニコチン指導料管理料																																																																										
ハイケアユニット入院医療管理料	経皮的冠動脈形成術	肝炎ウイルス治療計画料																																																																										
がん性疼痛緩和指導管理料	経皮的大動脈狭窄術	医薬品安全性情報等管理体制加算																																																																										
がん患者カウンセリング料	ダメージコントロール手術	CT撮影及びAMR撮影																																																																										
		酸素																																																																										
○広島病院																																																																												
急性期看護補助体制加算																																																																												
医師事務作業補助体制加算(25対1)																																																																												
精神科入院基本料(10対1)	ほか																																																																											
○安芸津病院																																																																												
急性期看護補助体制加算																																																																												
医師事務作業補助体制加算(50対1)																																																																												
がん治療連携指導料																																																																												
地域連携診療計画管理料 等	ほか																																																																											

取組方針	取組項目	取組内容	今後の取組	課題・特記事項
経営の効率化	増収対策 医療収益の増加	<p>②分析トレーニング(分析ソフトの利活用の習得)【広島】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院職員(医師, 看護師, 事務)の分析能力の向上。(H21:10名, H22:10名) ・トレーニング後は, グループ分けし, 分析結果を発表。 <p>③手術室の効率化【広島】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日の利用時間, 手術間の時間, 時間外の実施状況など, 現状解析。(H22.1~3) ・効率化に向けた運用見直し... <院内での取組> <ul style="list-style-type: none"> 朝の手術開始が円滑に開始できるよう, 勤務時間の変更(早出の活用) 手術定期枠を稼働率等を勘案し適宜見直し, 定期枠の増加 予定手術申込み方法の変更 など ・組織見直し... (H22.4) <p>④レセプト診断(収益改善可能性診断)【広島・安芸津】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療報酬の算定漏れの有無をチェック ⇒ 現実の算定漏れ状況を再検証(16項目) ・情報伝達の不備項目の洗い出し ⇒ 情報連絡体制を確認, 徹底 ⇒ 算定可能なものは随時取り組みに生かす。 <p>○平均在院日数の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的逆紹介, DPC分析での他病院比較によるパス見直しで, 適切に短縮化 (H21.3:15.6日 ⇒ H22.3:14.4日(▲1.2日)) ・急性期リハビリを強化し, 早期退院を推進 (セラピスト+3名(H22.4~)) <p>○薬剤管理指導の算定</p> <p>入院中における適切な指導を積極的に取組んだ。また, 医師, 看護師との連携も一層強固になった。(H20:5,369件 ⇒ H21:8,706件(+3,340件))</p>	H22逆紹介率目標 75%	



取組方針	取組項目	取組内容	今後の取組	課題・特記事項
経営の効率化	増収対策 医療収益の増加	<p>○使用料・手数料の新設・改定 毎年適宜見直し。 改定： 予防接種 BCG,麻疹風疹混合等の追加 (H21.4～) 電気料金使用料の徴収廃止 (H21.9～) 新型インフルエンザワクチンの追加 (H21.10～) 分娩料 18万円⇒21万円 (H22.4～) 子宮頸がんの追加 (H22.4～) 小児用肺炎球菌の追加 (H22.6～) 新設： 死後措置料(衣服代)2,500円 (H22.1～)</p> <p>○請求漏れの防止～レセプト診断(収益改善可能性診断)＜広島H22.3＞再掲</p> <p>○査定減対策 ～＜広島＞査定減の金額と項目を毎月会議で周知し、徹底。 査定減実績(金額11,745千円, 査定率0.076%) (対H20: ▲2,516千円, ▲0.24%)</p> <p>○未収金対策 ①時間外診療概算預かり金制度(H17.3～(広島: 1診療10,000円)) 費用対効果検討により, 夜間の請求事務委託は実施せず。 ②業務委託 (H20)債権回収会社への電話による納付案内業務を委託 (H21.11～)中長期未収債権の収納事務も対象とし, 成功報酬型を追加委託業務の拡大 過年度未収金(H20末: 113百万円 ⇒H21末: 119百万円(+7百万円))増加幅は縮減。</p>	<p>病院事業全体の過年度未収金 H20末: 128百万円 ⇒H21末: 136百万円 (対前年+8百万円)</p>	
	患者数の増加 (病診連携強化)	<p>○救急受入患者増加への取組み 【取組状況1参照】</p>  <p>○紹介患者, 逆紹介患者増加への取組み 【取組状況(5) - ①参照】 紹介率 ...H20: 65.4%⇒H21: 67.5% (+2.1%) 逆紹介率...H20: 65.3%⇒H21: 70.7% (+5.4%)</p> <p>○病診連携カンファレンス 院外医師を招いた合同カンファレンスを毎年実施 【取組状況(5) - ①参照】</p>		

取組方針	取組項目	取組内容	今後の取組	課題・特記事項
経営の効率化 費用合理化対策 ○自己評価【点】	材料購入の見直し	○コンサルティング会社の導入(アドバイス, 交渉同席)(H21.1~) ・目的: 実勢価格, 市場動向のアドバイスを受けることによる交渉力の強化, 低額購入の実現。 ・効果額: 医薬品 ▲58,045千円(H20比) 診療材料 ▲19,608千円(H20比) ・取組 医薬品 ~ 医薬品の2病院共同購入に向けた検討(H21.6~) ・品目の洗い出し ~ 医薬品データを検証し, 共通品目・業者値引率等の検証 ・契約の統一化 ~ 契約を広島病院に統合する方向で検討 ・契約方法の検討 ~ 競争原理, 総値引からジェネリック切り離し 診療材料 ~ ベンチマーク分析により, 高額購入品を検証(A~D評価)し, 価格交渉力を強化。高額購入の是正に成功した。 ・A, B評価1.3% ⇒ ⇒ 17.8% ・C 評価22%(H21.4) ⇒ 交渉を強化 ⇒ 46.6%(H22.3) ・D 評価77% ⇒ 【目標:D評価50%以下】⇒ 35.6% 医療機器 ~ 高額医療機器の導入に際し, 技術的, 价格的アドバイス 市場流通価格での購入(MRI3.0テスラ:2.7億円) ○ジェネリック医薬品の利用拡大 購入上位200品目の注射剤を中心に, 順次ジェネリック医薬品に切り替え中。 全品目数1,613品目, GE薬品目数 93品目, 品目数比率 5.8%, 購入額比率5.1%	医薬品の品目共通化推進 (目標600品目, 現状500品目) 一層のGE薬利用拡大 (DPC分析によれば, GE薬使用率が他病院と比較してまだ低い)	
	経費の見直し	○契約見直し ・機器保守委託にコンサルティング会社導入(H21.1~) 効果額:H21 ▲2,839千円, H22 ▲3,617千円		
	医療機器の計画的整備	○機器機能の高度化にあわせ, MRIを更新(3.0テスラ:H22.3)【2.7億円】 ○高気圧酸素療法機器の導入を検討⇒H23年度設置【1,500万円】に向けH22設計 ○当年度の機器選定 備品整備委員会で購入機器選定, 機種選定委員会で機種を選定。 包括外部監査の指摘を踏まえ, ランニングコストを考慮して選定。	<広島> 長期更新計画をH22検討	

取組方針	取組項目	取組内容	今後の取組	課題・特記事項
経営の効率化 経営機能の評価 ○自己評価 【点】	経営機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○病院経営戦略会議の設置(H21.5) ~構成:管理者,各院長,各事務(局)長 ~目的:運営情報の共有,経営分析,改善策の検討 ○組織見直し 運営管理担当(経営分析等の強化)を設置(4名)(H21.4) ○病院事業管理者裁量枠の設置と執行 年度中途において,真に必要なものに随時執行 ○弾力的な医療人材の採用・配置 <ul style="list-style-type: none"> ・診療報酬改定への組織の迅速の対応 ~看護補助加算取得のための非常勤嘱託員の配置 ・患者動向等を踏まえた定員の見直し(H21⇒H22:広島+22,安芸津▲13) ・薬剤部長の外部登用 ・将来の広島県の医療を担う若手医師を確保育成するための人材育成枠の設置 (公募制,任期付)定員10名 H22:2名採用 ○病床見直し <ul style="list-style-type: none"> ・診療科ごとの優先病床を適宜見直し(H22.3)【病院全体での病床共有は基本】 		
	職員の経営参画意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ○全体会議で経営目標,目標数値,経営情報を共有(毎月) H22経営目標は,経営計画より上方修正。 ○バランススコアカードの導入検討 病院経営戦略会議で導入を検討 <両病院>試行的に部門ごとの目標を独自に設定し,進行管理に取組む。 ○院内研修,各種研修 事務職員初任研修を新たに実施(H22.5) ~内容)医療環境,公営企業,予算,会計など ○職員提案制度 業務改善に関する提案の募集開始(H21) ~患者満足や,コスト削減,業務効率化につながる提案を募集する制度を創設。 		

1 広島病院

区分	数値目標	21年度実績	達成状況
1. 病床利用率	85%以上	83.7%	年度前半の低迷が響き, 未達
2. 紹介率	65%以上	67.5%	21年度達成
3. 逆紹介率	65%以上	70.7%	21年度達成
4. 救急患者受入数	1日平均16人以上	1日平均17.2人	21年度達成
5. NICU・GCU患者受入数	年間8,200人以上	年間8,422人	21年度達成
6. がん登録件数	年間1,000件以上	年間1,721件	21年度達成
7. 前期臨床研修医受入数	20名以上	20名	21年度達成
8. 後期臨床研修医受入数	50名以上	31名	医師が確保できず, 未達
9. 認定・専門看護師の養成	毎年5名以上(安芸津と共通)	5名	21年度達成
10. 財務指標	経常収支▲308百万円(H21) ～経常収支黒字化(H24)	経常収支+271百万円 【経常黒字】	21年度達成

取組方針	取組項目	取組内容	今後の取組	課題・特記事項
<p>安芸津病院の機能検討</p> <p>○自己評価</p> <p>【点】</p>	<p>新たな役割・方向性の検討</p>	<p>【検討結果】</p> <p>○基本理念の再定義 地域住民のプライマリケアや在宅医療等、地域により密着した医療ニーズに対応するとともに、高度・専門医療を必要とする患者には、中国労災病院等との連携強化・機能分担によって必要な医療を受けられる体制を確保することにより、地域住民の安心・安全な暮らしに寄与する。</p> <p>○方向性 地域の中核病院(二次輪番)は継承 地域の急性期医療に加え、亜急性期医療を担う プライマリケアや在宅医療の充実 大規模病院、民間施設等との連携 市町との連携強化。保健事業、健康教育を推進</p> <p>○具体策 ⇒ 二次救急医療体制の維持 ⇒ 亜急性期病床10床(H22.2~) ⇒ 訪問診療拡充、訪問看護(新規) ⇒ 施設訪問の実施、紹介・逆紹介の向上 ⇒ 医療講演会の実施、検診受診推奨、保健事業協力</p> <p>小児医療は病院全体で一定の医療提供体制を確保⇒ 小児科不在の場合の診療方針の検討 地域に密着した医療提供 ⇒ 地区行事等への積極参加 診療科の見直し ⇒ 患者数、広島病院からの応援可能性で体制を検討</p> <p>人材育成(看護実習等は継続、医師の研修実施) ⇒ 内視鏡等技術向上研修、地域医療研修の受入 人員体制見直し ⇒ 職員数・体制見直し 技師▲2, 看護師(外来▲3(嘱託2へ)、病棟▲4(嘱託2, 看護補助1へ)) 訪問看護体制を新たに構築(看護師+2)</p> <p>●その他 広島大学に対し、欠員医師の確保や診療科充実のための働きかけをした。</p>	<p>二次救急医療体制の維持 訪問診療、訪問看護の拡充 地域の医療機関等との連携強化 市町との連携強化、保健事業協力 ふれあいサロン等訪問の増 診療応援による専門診療科の充実 研修実施検討</p>	
	<p>医療ニーズの把握</p>	<p>○受療動向調査～H21.9圏域の受療動向を調査・分析(病院事業局) 診療圏において、入院約6%、外来約7%の患者シェア。</p> <p>○レセプト診断 ～H21.10診療報酬の算定可能性診断(民間コンサル) 指導料や加算等の算定漏れの発見、検証を実施。 受療動向や地域ニーズを踏まえ、亜急性期入院医療管理料(10床)を算定開始(H22.2)</p>	<p>レセプト診断により判明した請求漏れの事務手続き(現在は、返戻依頼申請)を実施。 指導料については、目標設定に組み込み、取組の強化に努めている。</p>	

取組方針	取組項目	取組内容	今後の取組	課題・特記事項
医療の質の向上 ○自己評価 【点】	電子カルテ、クリニカルパスの活用	<p>○電子カルテの検討 オーダーリングシステムの更新に併せ、電子カルテの導入を検討したが、当面既存システムのリース延長により対応することとした。</p> <p>○クリニカルパスの活用 クリニカルパス委員会において、パスの改善及び新規作成に取組み。 パス稼働件数 31件(内科 16件, 外科 7件, 整形外科7件)</p>	<p><安芸津>クリニカルパスバリアンスシートを作成し、分析する。 これにより、パスの改善に努める。</p>	
	相談機能・地域連携の強化	<p>○連携先医療機関への訪問 ~ 9日間 71施設を訪問</p> <p>○病診連携への体制強化 ~ 地域連携室へ専任の看護師を1名配置(H21.4~)</p> <p>○紹介率・逆紹介率の把握 ~ 紹介患者データの把握、分析に努めた。 (紹介率 ...H21:6.9%(H21.9~22.3)) (逆紹介率 ...H21:4.5%(H21.9~22.3))</p>	<p><安芸津> 訪問看護を開始したことを地域へ発信していく手段の検討。 地域との連携強化(地域ケア会議等への参加)</p>	
	医療安全の確保	<p>○【医療安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全対策委員会セーフティマネージメント部会で、各マニュアルの改訂について検討。 ・医療安全対策委員会(H21: 12回) ・院内医療安全講習会の実施。 10月8日 医療事故情報収集等事業の現状について 17:30~18:30 院外講師 12月3日 危険予知トレーニング~リスク感性の向上に向けて~ 院内講師 <p>○【基幹災害】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練等で、災害対策マニュアルを徹底 <p>○【感染症】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策委員会を随時開催し、院内の対策を図った。 		

取組方針	取組項目	取組内容	今後の取組	課題・特記事項
人材の確保・育成・派遣 ○自己評価【点】	・医師確保 ・勤務環境の改善	○広島大学に対し、欠員医師の確保や診療科充実のための働きかけをした。 ○臨床研修医の地域研修受入検討 ○海外長期研修制度等の創設～病院の魅力向上と継続的な人材確保(H22.3) 海外への公務出張制度(海外長期研修制度)【全額公費, 3ヶ月以内】 自己研鑽目的の海外への学会参加等(海外自己研修助成制度)【1/2助成, 上限30万円】 ○看護補助の配置検討～H22診療報酬改定で新設の「急性期看護補助体制加算」の取得検討 ～看護師の業務改善と専門性の発揮	研修中の代診医の確保	
	医療人材の育成	学会の認定する専門医, 認定医等の資格に必要な学会へ計画的に参加。 人材育成は, 広島病院と一体として育成しているが, 病院独自の取組として, 技能向上に向けて, 医師・技師間の連携(放射線機器の医師使用 など)		

取組方針	取組項目	取組内容	今後の取組	課題・特記事項																								
<p>患者サービスの向上</p> <p>○自己評価(点)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利便性の向上 ・環境改善 ・広報充実 	<p>○個室化の推進</p> <p>差額ベッド料金(改修後)</p> <table border="1" data-bbox="382 354 813 468"> <thead> <tr> <th colspan="3">広島病院</th> </tr> <tr> <th>使用料</th> <th>区分</th> <th>室数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,490~12,590円</td> <td>個室</td> <td>76室</td> </tr> <tr> <td>970円</td> <td>2人室</td> <td>50室(100床)</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="836 354 1213 468"> <thead> <tr> <th colspan="3">安芸津病院</th> </tr> <tr> <th>使用料</th> <th>区分</th> <th>室数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,070~6,330円</td> <td>個室</td> <td>17室</td> </tr> <tr> <td>600円</td> <td>2人室</td> <td>4室(8床)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○医療講演会の実施</p> <p>H21.6.27「ロコモティブシンドローム」参加者128名 ※地域の健康管理や医療環境などをテーマに年3回実施の予定であったが、新型インフルエンザ流行のため、開催は1回にとどまった。</p> <p>○院外活動(地域貢献等)実績の公表に向けた検討(H22)～広島病院と協働 対象～研究発表、講演、診療・救護応援、教育活動、公的委員活動、公的位置づけによる活動 活用～県立病院の対外的活動・貢献を広く地域に発信</p>	広島病院			使用料	区分	室数	3,490~12,590円	個室	76室	970円	2人室	50室(100床)	安芸津病院			使用料	区分	室数	2,070~6,330円	個室	17室	600円	2人室	4室(8床)	<p>医療講演会の定期実施 " 積極広報 出前医療講座の実施</p> <p>H22年度から取りまとめを開始</p>	
	広島病院																											
使用料	区分	室数																										
3,490~12,590円	個室	76室																										
970円	2人室	50室(100床)																										
安芸津病院																												
使用料	区分	室数																										
2,070~6,330円	個室	17室																										
600円	2人室	4室(8床)																										
<p>患者ニーズの把握</p>	<p>○患者アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退院患者は毎月実施中、外来患者についてH21.8新たに実施 ・毎日の総合案内への質問、意見、苦情等を記録、課題については対応を検討 ・退院患者アンケートは病棟全体で集計、課題については関係部署も含め対応を検討 ・上記の結果・対応内容を「広報・患者サービス向上委員会」で報告、課題について検討 ・活用～病院環境整備や接遇等の向上、委託業者への指導 <p>【例】院内の説明表示の改善、入院案内への説明項目追加、歩行者・シルバーカーの増設、給食配膳の順番検討 など</p> <p>○患者意見箱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各病棟やロビーに常設し、内容を関係部署に伝達、課題については対応を指示 ・結果、対応内容を広報・患者サービス向上委員会で報告、課題について検討 ・対応済みのものはロビーに掲示(投稿者のプライバシーに配慮) ・「お褒め」について、模範例は院長表彰し、院内に紹介 ・活用～病院環境整備や接遇等の向上、委託業者への指導 <p>【例】待合室の環境整備、トイレ等の清掃の徹底、職員の個別指導 など</p>	<p>地域住民アンケート実施協力 (病院を支援する会主催)</p>																										

取組方針	取組項目	取組内容	今後の取組	課題・特記事項																																																																																										
<p>経営の効率化</p> <p>増収対策</p> <p>○自己評価【点】</p>	<p>医療収益の増加</p>	<p>○各種加算の取得 体制整備や基準具備したものから随時取得 ～安芸津:診療録管理体制加算(H22.1) ～安芸津:亜急性期入院医療管理料1(H22.2)</p> <p>○診療報酬改定対応の取組～H22.1以降最新情報の随時入手, セミナーへの参加, 情報共有 ～全改定項目について算定可能性の洗い出し, 収支試算</p> <p>○平成22年4月 新規届出項目</p> <table border="1" data-bbox="469 565 1145 892"> <tr> <th colspan="3">○広島病院</th> </tr> <tr> <td>初診(夜間・早期等)加算</td> <td>がん治療連携計画策定料</td> <td>腹腔鏡下肝切除術</td> </tr> <tr> <td>障害者歯科医療連携加算</td> <td>肝炎ウイルス治療計画料</td> <td>医科点数表選別に関する手術</td> </tr> <tr> <td>精神科補入院基本料(13対1)</td> <td>医薬品安全性情報等管理体制加算</td> <td>歯周組織再生誘導手術</td> </tr> <tr> <td>総合入院加算</td> <td>歯科治療総合医療管理料</td> <td>麻酔管理料(1, 3)</td> </tr> <tr> <td>救急医療管理加算</td> <td>HPV検査回定検査</td> <td>画像誘導放射線治療</td> </tr> <tr> <td>医師事務作業補助体制加算</td> <td>埋込型心電図検査</td> <td>クラウン・ブリッジ維持管理料</td> </tr> <tr> <td>重症皮膚潰瘍管理下さん</td> <td>センチネルリンパ節生検</td> <td>酸素</td> </tr> <tr> <td>緊急搬入入院医療管理加算</td> <td>抗悪性腫瘍剤薬理管理加算</td> <td></td> </tr> <tr> <td>栄養サポートチーム加算</td> <td>運動器リハビリテーション料1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>感染防止対策加算</td> <td>集団コミュニケーション療法料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハイリスク分娩管理加算</td> <td>歯科技工加算</td> <td></td> </tr> <tr> <td>急性期病棟等選院調整加算</td> <td>悪性黒色腫センチネルリンパ節加算</td> <td></td> </tr> <tr> <td>新生児特定集中治療室選院調整加算</td> <td>乳がんセンチネルリンパ節加算</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハイケアユニット入院医療管理料</td> <td>経皮的運動療法形成術</td> <td></td> </tr> <tr> <td>がん性疼痛緩和指導管理料</td> <td>経皮的動脈診断術</td> <td></td> </tr> <tr> <td>がん患者カウンセリング料</td> <td>ダメージコントロール手術</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="3">○安芸津病院</th> </tr> <tr> <td>救急医療管理加算</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ニコチン指導管理料</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>肝炎ウイルス治療計画料</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>医薬品安全性情報等管理体制加算</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>CT撮影及びMRI撮影</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>酸素</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○検討中の項目</p> <table border="1" data-bbox="1253 565 1545 822"> <tr> <th colspan="2">○広島病院</th> </tr> <tr> <td>急性期看護補助体制加算</td> <td></td> </tr> <tr> <td>医師事務作業補助体制加算(25対1)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>精神科補入院基本料(10対1)</td> <td>ほか</td> </tr> <tr> <th colspan="2">○安芸津病院</th> </tr> <tr> <td>急性期看護補助体制加算</td> <td></td> </tr> <tr> <td>医師事務作業補助体制加算(50対1)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>がん治療連携指導料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域連携診療計画管理料 等</td> <td>ほか</td> </tr> </table>	○広島病院			初診(夜間・早期等)加算	がん治療連携計画策定料	腹腔鏡下肝切除術	障害者歯科医療連携加算	肝炎ウイルス治療計画料	医科点数表選別に関する手術	精神科補入院基本料(13対1)	医薬品安全性情報等管理体制加算	歯周組織再生誘導手術	総合入院加算	歯科治療総合医療管理料	麻酔管理料(1, 3)	救急医療管理加算	HPV検査回定検査	画像誘導放射線治療	医師事務作業補助体制加算	埋込型心電図検査	クラウン・ブリッジ維持管理料	重症皮膚潰瘍管理下さん	センチネルリンパ節生検	酸素	緊急搬入入院医療管理加算	抗悪性腫瘍剤薬理管理加算		栄養サポートチーム加算	運動器リハビリテーション料1		感染防止対策加算	集団コミュニケーション療法料		ハイリスク分娩管理加算	歯科技工加算		急性期病棟等選院調整加算	悪性黒色腫センチネルリンパ節加算		新生児特定集中治療室選院調整加算	乳がんセンチネルリンパ節加算		ハイケアユニット入院医療管理料	経皮的運動療法形成術		がん性疼痛緩和指導管理料	経皮的動脈診断術		がん患者カウンセリング料	ダメージコントロール手術		○安芸津病院			救急医療管理加算			ニコチン指導管理料			肝炎ウイルス治療計画料			医薬品安全性情報等管理体制加算			CT撮影及びMRI撮影			酸素			○広島病院		急性期看護補助体制加算		医師事務作業補助体制加算(25対1)		精神科補入院基本料(10対1)	ほか	○安芸津病院		急性期看護補助体制加算		医師事務作業補助体制加算(50対1)		がん治療連携指導料		地域連携診療計画管理料 等	ほか		
○広島病院																																																																																														
初診(夜間・早期等)加算	がん治療連携計画策定料	腹腔鏡下肝切除術																																																																																												
障害者歯科医療連携加算	肝炎ウイルス治療計画料	医科点数表選別に関する手術																																																																																												
精神科補入院基本料(13対1)	医薬品安全性情報等管理体制加算	歯周組織再生誘導手術																																																																																												
総合入院加算	歯科治療総合医療管理料	麻酔管理料(1, 3)																																																																																												
救急医療管理加算	HPV検査回定検査	画像誘導放射線治療																																																																																												
医師事務作業補助体制加算	埋込型心電図検査	クラウン・ブリッジ維持管理料																																																																																												
重症皮膚潰瘍管理下さん	センチネルリンパ節生検	酸素																																																																																												
緊急搬入入院医療管理加算	抗悪性腫瘍剤薬理管理加算																																																																																													
栄養サポートチーム加算	運動器リハビリテーション料1																																																																																													
感染防止対策加算	集団コミュニケーション療法料																																																																																													
ハイリスク分娩管理加算	歯科技工加算																																																																																													
急性期病棟等選院調整加算	悪性黒色腫センチネルリンパ節加算																																																																																													
新生児特定集中治療室選院調整加算	乳がんセンチネルリンパ節加算																																																																																													
ハイケアユニット入院医療管理料	経皮的運動療法形成術																																																																																													
がん性疼痛緩和指導管理料	経皮的動脈診断術																																																																																													
がん患者カウンセリング料	ダメージコントロール手術																																																																																													
○安芸津病院																																																																																														
救急医療管理加算																																																																																														
ニコチン指導管理料																																																																																														
肝炎ウイルス治療計画料																																																																																														
医薬品安全性情報等管理体制加算																																																																																														
CT撮影及びMRI撮影																																																																																														
酸素																																																																																														
○広島病院																																																																																														
急性期看護補助体制加算																																																																																														
医師事務作業補助体制加算(25対1)																																																																																														
精神科補入院基本料(10対1)	ほか																																																																																													
○安芸津病院																																																																																														
急性期看護補助体制加算																																																																																														
医師事務作業補助体制加算(50対1)																																																																																														
がん治療連携指導料																																																																																														
地域連携診療計画管理料 等	ほか																																																																																													
		<p>○コンサルティング会社の積極活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レセプト診断(収益改善可能性診断)【広島・安芸津】 ・診療報酬の算定漏れの有無をチェック ⇒ 現実の算定漏れ状況を再検証 ・情報伝達の不備項目の洗い出し ⇒ 情報連絡体制を確認, 徹底 ・算定可能項目の提案 ⇒ 救急医療管理加算の算定徹底 診療録管理体制加算 亜急性期入院医療管理料を算定開始 など <p>○平均在院日数の適正化</p> <p>10対1看護取得に伴い, 21日以内を維持。 地域患者のニーズを勘案し, 亜急性期病床に10床転換することで, 必要な長期入院対応可能とした。</p>																																																																																												

取組方針	取組項目	取組内容	今後の取組	課題・特記事項																																	
経営の効率化	増収対策 医療収益の増加	<p>○使用料・手数料の新設・改定 毎年適宜見直し。 改定： 予防接種 BCG,麻疹風疹混合等の追加 (H21.4～) 電気料金使用料の徴収廃止 (H21.9～) 新型インフルエンザワクチンの追加 (H21.10～) 子宮頸がんの追加 (H22.4～) 小児用肺炎球菌の追加 (H22.6～) 新設： 死後措置料(衣服代)2,500円 (H22.1～)</p> <p>○請求漏れの防止～レセプト診断(収益改善可能性診断)(H21.10)再掲</p> <p>○査定減対策 ～ 毎月、査定減集計表及び患者(担当医)別査定内訳を作成し、各医師に対し提示。 査定減となったものについては、明らかに復活が望めないもの以外は再審査請求。</p> <p>●査定減の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>査定金額</th> <th>査定率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成20年度</td> <td>1,516,362円</td> <td>0.11%</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>1,047,847円</td> <td>0.09%</td> </tr> </tbody> </table> <p>●再審査請求の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>請求件数</th> <th>減点点数</th> <th>復活件数 (対請求件数)</th> <th>減点点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成20年度</td> <td>386件</td> <td>443,210点</td> <td>90件 (23.3%)</td> <td>127,356点 (28.7%)</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>238件</td> <td>84,980点</td> <td>31件 (13.0%)</td> <td>14,132点 (16.6%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>●滞納繰越額の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>新規滞納繰越額 (対前年比)</th> <th>滞納繰越額計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成20年度</td> <td>8,232,053円 (160.1%)</td> <td>21,340,823円 (116.7%)</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>7,066,167円 (85.8%)</td> <td>21,945,093円 (102.8%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○未収金対策 ～月の2ヵ月後に督促状を送付し、早期回収に努めている。また、医事課窓口との連携を密にし、未払い者が再来した際に医事課から総務課に連絡を入れ、総務課の職員が面談し早期納付の指導に取り組んでいる。</p> <p>過年度未収金(H20末:13百万円 ⇒H21末:15百万円(+2百万円))増加幅は縮減。</p>	年度	査定金額	査定率	平成20年度	1,516,362円	0.11%	平成21年度	1,047,847円	0.09%	年度	請求件数	減点点数	復活件数 (対請求件数)	減点点数	平成20年度	386件	443,210点	90件 (23.3%)	127,356点 (28.7%)	平成21年度	238件	84,980点	31件 (13.0%)	14,132点 (16.6%)	年度	新規滞納繰越額 (対前年比)	滞納繰越額計	平成20年度	8,232,053円 (160.1%)	21,340,823円 (116.7%)	平成21年度	7,066,167円 (85.8%)	21,945,093円 (102.8%)		
	年度	査定金額	査定率																																		
平成20年度	1,516,362円	0.11%																																			
平成21年度	1,047,847円	0.09%																																			
年度	請求件数	減点点数	復活件数 (対請求件数)	減点点数																																	
平成20年度	386件	443,210点	90件 (23.3%)	127,356点 (28.7%)																																	
平成21年度	238件	84,980点	31件 (13.0%)	14,132点 (16.6%)																																	
年度	新規滞納繰越額 (対前年比)	滞納繰越額計																																			
平成20年度	8,232,053円 (160.1%)	21,340,823円 (116.7%)																																			
平成21年度	7,066,167円 (85.8%)	21,945,093円 (102.8%)																																			
	患者数の増加 (病診連携強化)	<p>○救急患者の受入対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師も放射線機器を扱えるように取り組み) ・連携先医療機関への訪問(9日間 71施設) ・地域連携室へ専任の看護師を1名配置(平成21年4月から) 	<p>地域との連携強化(地域ケア会議等への参加)</p>																																		

取組方針		取組項目	取組内容	今後の取組	課題・特記事項
経営の効率化	費用合理化対策 ○自己評価	材料購入の見直し	<p>○医薬品の共同購入、品目共通化への取組</p> <p>医薬品 ～ 医薬品の2病院共同購入に向け、広島病院と共同して、コンサルティング会社のアドバイスを受けながら検討(H21.6～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品目の洗い出し ～ 医薬品データを検証し、共通品目・業者値引率等の検証 ・契約の統一化 ～ 契約を広島病院に統合する方向で検討 ・契約方法の検討 ～ 競争原理、総価値引からジェネリック切り離し <p>○ジェネリック医薬品の利用拡大</p> <p>全品目数 738品目、GE薬品目数 61品目、品目数比率 8.3%、購入額比率6.7%</p>	<p>医薬品の品目共通化推進 (目標600品目、現状500品目)</p> <p>一層のGE薬利用拡大 (広島病院との医薬品共通化も踏まえる。)</p>	
		経費の見直し	<p>○契約見直し</p> <p>契約更改の都度経費節減に役立つ見直しを実施</p> <p>H21.4.1～ 事務室・当直室等の清掃委託回数の減 (1回/日→1回/週、ワックス塗布 2回/年→1回/年)</p> <p>H22.4.1～ 給食業務委託の契約方式の変更(プロポーザル → 一般競争入札)</p> <p>○オフィスコスト節減</p> <p>H22.4.1～ 契約電力の見直し(550kw → 470kw) 院内へ節電の徹底の呼びかけを実施</p>	節電の徹底を継続。	
	医療機器の計画的整備	<p>○当年度の機器選定</p> <p>試薬使用量の削減などトータルのランニングコストに着目し導入を進めた。 (生化学自動分析機の更新)</p>			

取組方針	取組項目	取組内容	今後の取組	課題・特記事項
経営の効率化	経営機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○病院経営戦略会議の設置(H21.5) ～構成: 管理者, 各院長, 各事務(局)長 ～目的: 運営情報の共有, 経営分析, 改善策の検討 ○拡大部長会議の設置(H21.10) 経営情報や病院経営戦略会議の報告等を迅速に行うため, これまでの月1回の運営会議に加え, 新たに設置。各部門長が出席。 ○院内統計資料の充実 患者数, 利用率, 平均在院日数, 紹介・逆紹介患者, 薬剤管理指導料など, 院内で共有する統計の作成 ○組織見直し 医師副院長, 看護副院長, 院長補佐の設置(H22.4) ○病院事業管理者裁量枠の設置と執行 年度中途において, 真に必要なものに随時執行 ○弾力的な医療人材の採用・配置 患者動向等を踏まえた定員の見直し(H21⇒H22: 広島+22, 安芸津▲13) ○病床見直し <安芸津>50床を休床し, 100床で運営。(H21.4～) 	<p><安芸津> 経営状況報告機会の増 (部長等会議の月2回定期開催)</p> <p><安芸津> 地域医療再生計画に基づき, 25床を県立障害者リハビリテーションセンターへ移管</p>	
	職員の経営参画意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ○独自目標の設定 病院独自で目標数値を設定し, 運営会議で周知 ○バランススコアカードの導入検討 病院経営戦略会議で導入を検討 <両病院> 試行的に部門ごとの目標を独自に設定し, 進行管理に取組む。 ○院内研修, 各種研修 事務職員初任研修を新たに実施(H22.5) ～内容) 医療環境, 公営企業, 予算, 会計など 	<p><安芸津> 運営会議, 部長等会議で目標数値, 経営情報等を共有</p>	

2 安芸津病院

区分	数値目標	21年度実績	備考
1. 病床利用率	90%以上	78.6%	低迷が続き, 未達
2. 認定・専門看護師の養成	毎年5名以上(広島と共通)	—	—
3. 財務指標	資金収支▲168百万円(H21) ～資金収支黒字化(H25)	資金収支▲247百万円	資金収支悪化, 未達